
令和3年度

県政世論調査

(概要版)

香川県

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査項目	1
3. 調査設計	1
4. 回収状況	1
5. サンプル設計	1
6. 集計・分析方法	3
7. 報告書の見方	3
第2章 調査回答者の属性	5
1. 性別	5
2. 年齢	6
3. 職業	7
4. 圏域	8
5. 居住年数	9
第3章 調査の集計結果	11
1. 防災・減災対策について	11
2. かがわの里海づくりについて	26
3. 運動・スポーツについて	38
4. 人生の最終段階における医療・ケアについて	48
5. 県政の重要度と満足度について	58

<第1章 調査の概要>

第1章 調査の概要

1. 調査目的

県政の諸問題について、県民の意見や要望等を把握し、今後の施策立案に際しての基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査項目

- (1) 防災・減災対策について
- (2) かがわの里海づくりについて
- (3) 運動・スポーツについて
- (4) 人生の最終段階における医療・ケアについて
- (5) 県政の重要度と満足度について

3. 調査設計

- (1) 調査地域 香川県全域
- (2) 調査対象 満18歳以上の県民
- (3) 標本数 3,000
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- (5) 調査方法 郵送法
- (6) 調査時期 令和3年5月12日～6月2日

4. 回収状況

- (1) 標本数 3,000
- (2) 有効回収数 1,771 (59.0%)

5. サンプル設計

- (1) 母集団 香川県内の市町に居住する満18歳以上の県民
- (2) 標本数 3,000
- (3) 地点数 150地点 (市部：126地点、町部：24地点)
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法

【 層 化 】

県内の市町（8市9町）を次のように5圏域に分類した。

圏域名	構成市町
1 高松圏域	高松市・三木町・直島町・綾川町
2 東讃圏域	さぬき市・東かがわ市
3 小豆圏域	土庄町・小豆島町
4 中讃圏域	丸亀市・坂出市・善通寺市・宇多津町・琴平町・多度津町・まんのう町
5 西讃圏域	観音寺市・三豊市

さらに、各圏域内を市町の規模によって、

①高松市 ②高松市以外の市 ③町 に分類して、それぞれを層とした。

【 標本数の配分 】

各層における母集団数（令和3年3月1日現在の選挙人名簿登録者数）の大きさにより、3,000の標本数を比例配分した。

【 抽 出 】

- ①第1次抽出単位となる調査地点として、令和3年3月1日現在の投票区を使用した。
- ②調査地点数については、1調査地点あたりの標本数が20前後になるように、各層に割り当てられた標本数から算出して決定した。
- ③調査地点の抽出は、調査地点数が2地点以上割り当てられた層については、

$$\left(\frac{\text{層における選挙人名簿登録者数の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}} = \text{抽出間隔} \right)$$

を算出し、等間隔抽出法により該当番目が含まれる投票区を抽出した。

- ④抽出に際しての各層内における市町の配列順序は、総務省設定の市町村コードに従った。
- ⑤調査地点における対象者の抽出は、調査地点（投票区）内から選挙人名簿によって等間隔抽出法で抽出した。
- ⑥以上の結果、圏域別・市町規模別における標本数・調査地点数は次のとおりである。

【 圏域別・市町規模別 標本数および調査地点数 】 上段:母集団数 下段:標本数、()内は調査地点数

圏域 \ 市町別	高松市	高松市以外の市	町	計
1 高松圏域	354,113 1,302 (65)		46,084 170 (9)	400,197 1,472 (74)
2 東讃圏域		67,241 247 (12)		67,241 247 (12)
3 小豆圏域			24,374 90 (5)	24,374 90 (5)
4 中讃圏域		163,141 600 (30)	56,691 208 (10)	219,832 808 (40)
5 西讃圏域		104,240 383 (19)		104,240 383 (19)

6. 集計・分析方法

集計・分析にあたり、回答者の年齢階層の偏りを補正し、年齢別の集計ウェイトを乗じて標本数を規正（ウェイトバック集計）した。ウェイトバック集計した値は、この規正した標本数を基に回答者の割合（百分比%）等を算出している。なお、規正した標本数は、乗算結果の小数点以下第1位を四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しない場合がある。

年齢区分	推定母集団		有効回答数		年齢ウェイト (A/B)
	実数(人)	構成比(%) A	実数(人)	構成比(%) B	
18～19 歳	18,708	2.4	16	0.9	2.52907
20～29 歳	77,189	9.7	106	6.2	1.57508
30～39 歳	96,827	12.2	182	10.6	1.15074
40～49 歳	132,742	16.7	285	16.6	1.00743
50～59 歳	111,640	14.1	304	17.7	0.79433
60～69 歳	129,747	16.3	425	24.7	0.66033
70 歳以上	227,420	28.6	400	23.3	1.22976
合計	794,273	100.0	1,718	100.0	-

※1) 推定母集団は令和元年 10 月時点

※2) 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

※3) 年齢ウェイトは小数点以下を含んだ各構成比から算出しており、小数点以下第2位を四捨五入した各構成比から算出したカッコ内の数値とは一致しない。

7. 報告書の見方

- (1) 回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出し、少数第2位を四捨五入した。このために、百分比の合計が 100.0%にならないことがある。
- (2) 複数回答の設問の場合、回答は選択肢の有効回答数に対し、それぞれの割合を示している。このために、その比率の合計が 100.0%を超える場合がある。
- (3) 図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。また、設問で回答がなかった選択肢について、図中の比率表記（0.0%）を省略している。
- (4) 本文、図表、集計表に用いた符号等の意味は次のとおりである。

N：質問に対する回答者数で、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数

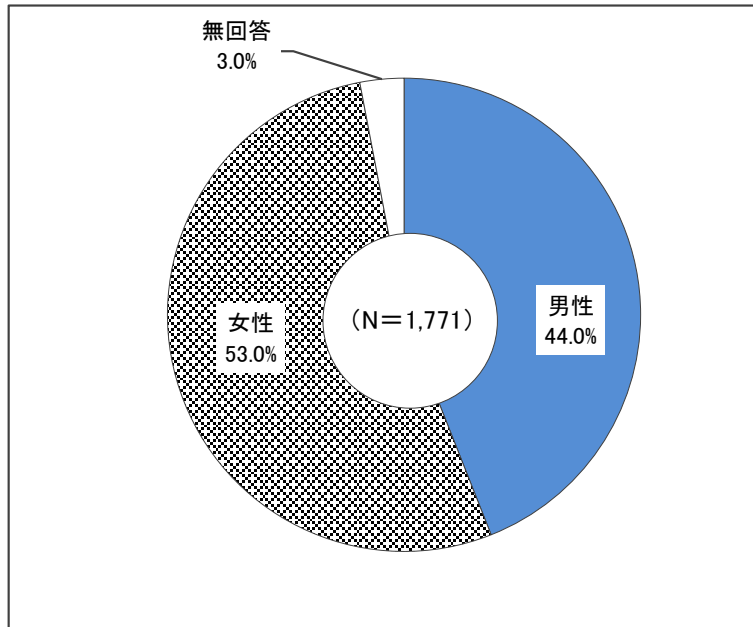
<第2章 調査回答者の属性>

第2章 調査回答者の属性

1. 性別

性別について、「男性」44.0%、「女性」53.0%となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「男性」43.9%、「女性」53.1%となっている。



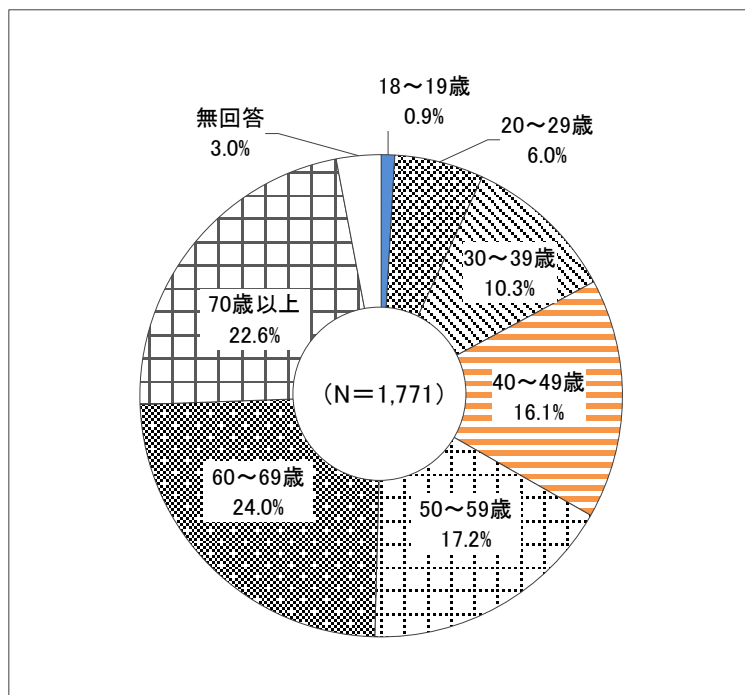
項目	回答数 (人)	構成比 (%)
男性	780 (777)	44.0 (43.9)
女性	938 (941)	53.0 (53.1)
(無回答)	53 (53)	3.0 (3.0)
計	1,771 (1,771)	100.0 (100.0)

※ () 内の数字はウェイトバックした値

2. 年齢

年齢について、「60～69歳」24.0%が最も高く、次いで「70歳以上」22.6%、「50～59歳」17.2%、「40～49歳」16.1%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「70歳以上」27.8%が最も高く、次いで「40～49歳」16.2%、「60～69歳」15.9%、「50～59歳」13.6%などとなっている。



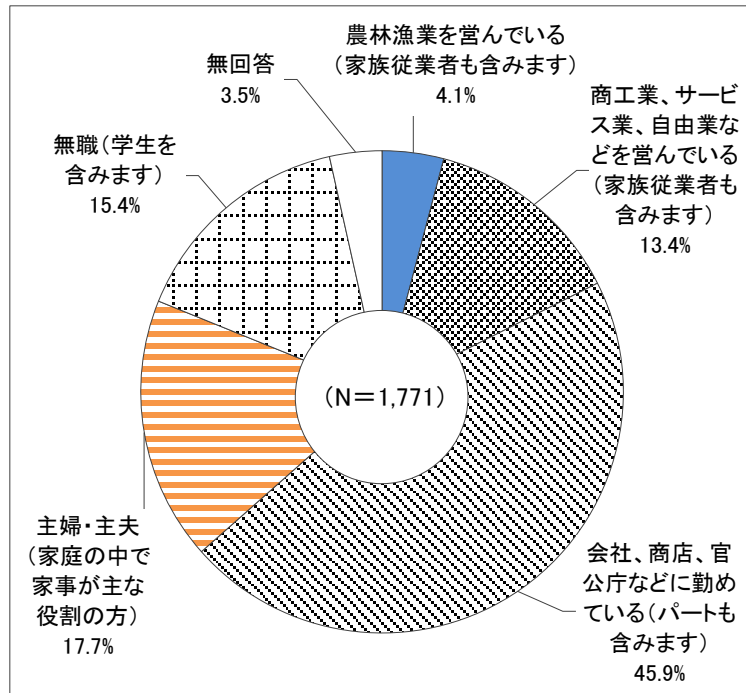
項目	回答数 (人)	構成比 (%)
18～19歳	16 (40)	0.9 (2.3)
20～29歳	106 (167)	6.0 (9.4)
30～39歳	182 (209)	10.3 (11.8)
40～49歳	285 (287)	16.1 (16.2)
50～59歳	304 (241)	17.2 (13.6)
60～69歳	425 (281)	24.0 (15.9)
70歳以上	400 (492)	22.6 (27.8)
(無回答)	53 (53)	3.0 (3.0)
計	1,771 (1,771)	100.0 (100.0)

※ () 内の数字はウェイトバックした値

3. 職業

職業について、「会社、商店、官公庁などに勤めている」45.9%が最も高く、次いで「主婦・主夫」17.7%、「無職」15.4%、「商工業、サービス業、自由業など」13.4%、「農林漁業」4.1%となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「会社、商店、官公庁などに勤めている」43.9%が最も高く、次いで「無職」18.2%、「主婦・主夫」17.4%、「商工業、サービス業、自由業など」12.9%、「農林漁業」4.0%となっている。



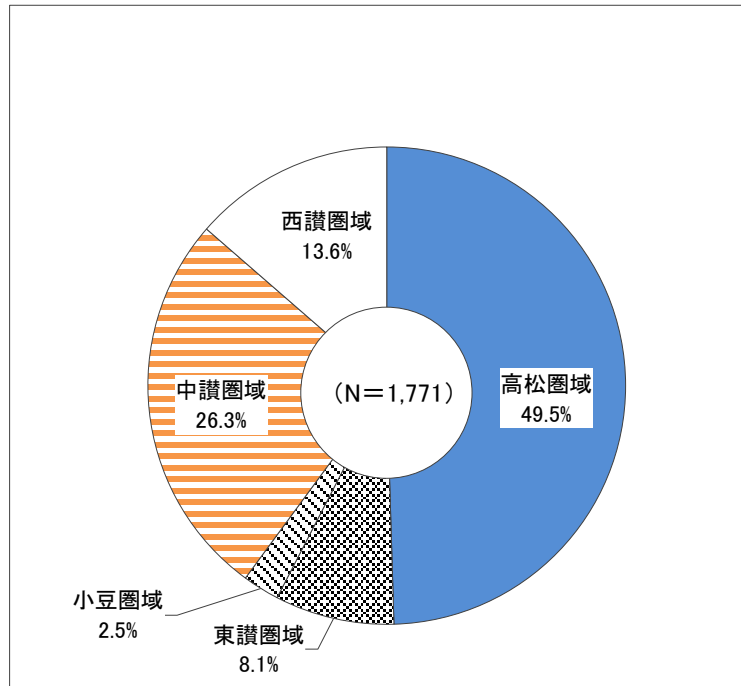
項目	回答数 (人)	構成比 (%)
農林漁業	73 (71)	4.1 (4.0)
商工業、サービス業、自由業など	238 (228)	13.4 (12.9)
会社、商店、官公庁などに勤務	813 (778)	45.9 (43.9)
主婦・主夫	313 (309)	17.7 (17.4)
無職	272 (323)	15.4 (18.2)
(無回答)	62 (63)	3.5 (3.6)
計	1,771(1,771)	100.0(100.0)

※ () 内の数字はウェイトバックした値

4. 圏域

圏域について、「高松圏域」49.5%が最も高く、次いで「中讃圏域」26.3%、「西讃圏域」13.6%、「東讃圏域」8.1%、「小豆圏域」2.5%となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「高松圏域」50.5%が最も高く、次いで「中讃圏域」25.9%、「西讃圏域」13.2%、「東讃圏域」8.1%、「小豆圏域」2.3%となっている。



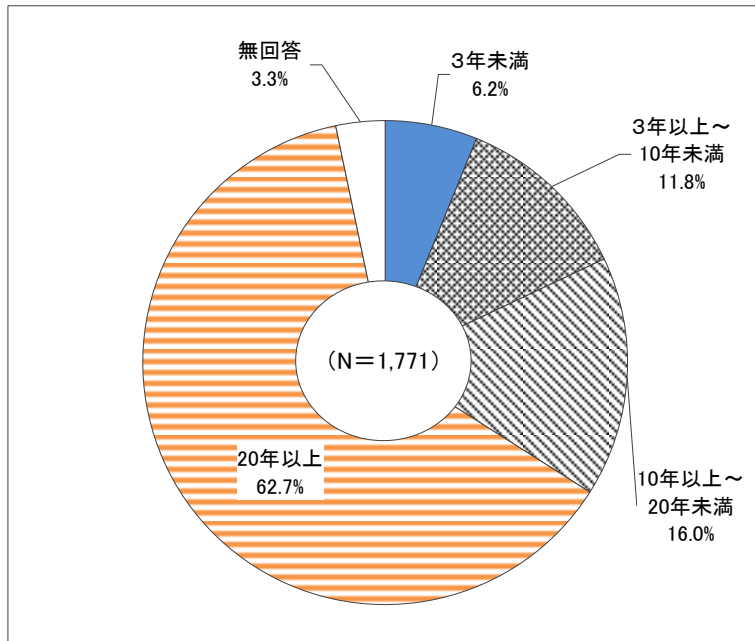
項目	回答数 (人)	構成比 (%)
高松圏域	877 (895)	49.5 (50.5)
東讃圏域	143 (143)	8.1 (8.1)
小豆圏域	44 (41)	2.5 (2.3)
中讃圏域	466 (458)	26.3 (25.9)
西讃圏域	241 (233)	13.6 (13.2)
計	1,771 (1,771)	100.0 (100.0)

※ () 内の数字はウェイトバックした値

5. 居住年数

居住年数について、「20年以上」62.7%が最も高く、次いで「10年以上～20年未満」16.0%、「3年以上～10年未満」11.8%、「3年未満」6.2%となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「20年以上」60.0%が最も高く、次いで「10年以上～20年未満」17.3%、「3年以上～10年未満」12.6%、「3年未満」6.8%となっている。



項目	回答数 (人)	構成比 (%)
3年未満	109 (121)	6.2 (6.8)
3年以上～10年未満	209 (224)	11.8 (12.6)
10年以上～20年未満	284 (306)	16.0 (17.3)
20年以上	1,111 (1,063)	62.7 (60.0)
(無回答)	58 (57)	3.3 (3.2)
計	1,771 (1,771)	100.0 (100.0)

※ () 内の数字はウェイトバックした値

<第3章 調査の集計結果>

第3章 調査の集計結果

1. 防災・減災対策について

(1) 防災・減災対策の重要度について

問1 あなたは、防災・減災対策が重要だと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

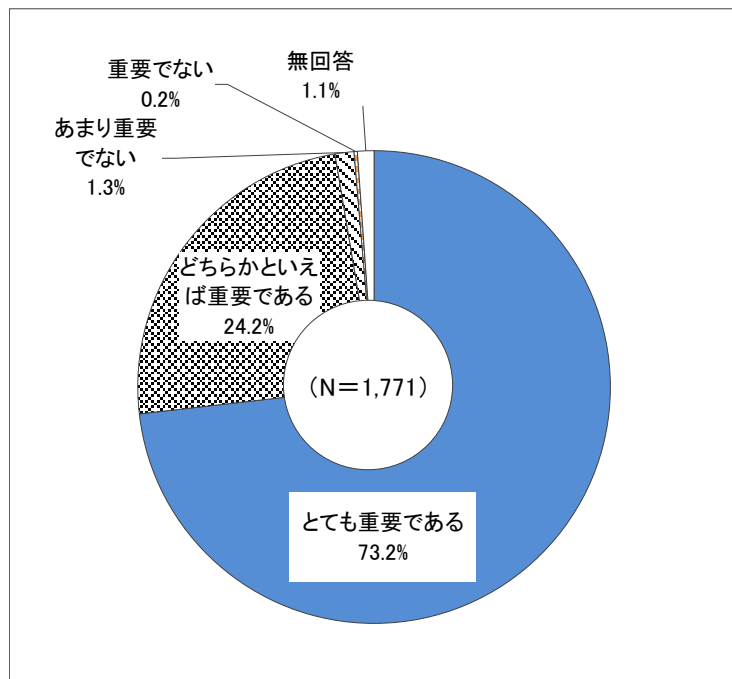
【回答者数=1,771】

1 とても重要である	73.2%(73.2%)
2 どちらかといえば重要である	24.2%(24.1%)
3 あまり重要でない	1.3%(1.3%)
4 重要でない	0.2%(0.2%)
(無回答)	1.1%(1.2%)

防災・減災対策の重要度について、「とても重要である」73.2%が最も高く、次いで「どちらかといえば重要である」24.2%、「あまり重要でない」1.3%、「重要でない」0.2%となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「とても重要である」73.2%が最も高く、次いで「どちらかといえば重要である」24.1%、「あまり重要でない」1.3%、「重要でない」0.2%となっている。

図表 1-(1)-1 防災・減災対策の重要度について



(2) 防災・減災対策が重要だと思ふ理由について

【問1で「1」または「2」と答えた方にお聞きします】

付問1 防災・減災対策が重要だと思ふ理由は何ですか。次の中から3つまで選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,724】※回答数の多い順に並び替え

1 自分や家族の生命・財産に直接関わる問題である	88.3%(87.8%)
2 近年、大規模災害が多発している	80.5%(79.7%)
3 日頃から災害に対しての備えをしておかないと、いざという時に困る	76.3%(76.0%)
4 防災教育の場などで災害対策の重要性を教えられたことがある	8.6%(9.4%)
5 過去に災害を体験したことがある	7.9%(7.9%)
6 自分の職業と密接に関係している	5.9%(6.2%)
7 その他（具体的に：_____）	2.4%(2.4%)
（無回答）	0.1%(0.1%)

防災・減災対策が重要だと思ふ理由について、「自分や家族の生命・財産に直接関わる問題である」88.3%が最も高く、次いで「近年、大規模災害が多発している」80.5%、「日頃から災害に対しての備えをしておかないと、いざという時に困る」76.3%、「防災教育の場などで災害対策の重要性を教えられたことがある」8.6%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「自分や家族の生命・財産に直接関わる問題である」87.8%が最も高く、次いで「近年、大規模災害が多発している」79.7%、「日頃から災害に対しての備えをしておかないと、いざという時に困る」76.0%、「防災教育の場などで災害対策の重要性を教えられたことがある」9.4%などとなっている。

図表 1-(2)-1 防災・減災対策が重要だと思ふ理由について

	割合	回答数
全体	100.0	1,724 人
(1) 自分や家族の生命・財産に直接関わる問題である	88.3	1,522 人
(2) 近年、大規模災害が多発している	80.5	1,388 人
(3) 日頃から災害に対しての備えをしておかないと、いざという時に困る	76.3	1,316 人
(4) 防災教育の場などで災害対策の重要性を教えられたことがある	8.6	149 人
(5) 過去に災害を体験したことがある	7.9	136 人
(6) 自分の職業と密接に関係している	5.9	101 人
(7) その他	2.4	41 人
無回答	0.1	1 人

グラフ単位：(%)

(3)防災・減災対策が重要でないと思う理由について

【問1で「3」または「4」と答えた方にお聞きします】

付問2 防災・減災対策が重要でないと思う理由は何ですか。次の中から3つまで選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=27】※回答数の多い順に並び替え

1	災害はいつどこで発生するか分からないので、対策は不可能だと思う	63.0%(66.7%)
2	防災・減災対策よりも優先度が高い課題が他にある	51.9%(51.9%)
3	香川県では大規模災害が起こることはないと思う	40.7%(40.7%)
4	事前の備えをしていなくても、自分や家族は大丈夫という自信がある	7.4%(7.4%)
5	自分や家族は、災害の危険箇所に住んだり、行ったりしない	7.4%(7.4%)
6	自分の職業との関わりがあまりない	0.0%(0.0%)
7	その他(具体的に: _____)	22.2%(25.9%)
	(無回答)	3.7%(3.7%)

防災・減災対策が重要でないと思う理由について、「災害はいつどこで発生するか分からないので、対策は不可能だと思う」63.0%が最も高く、次いで「防災・減災対策よりも優先度が高い課題が他にある」51.9%、「香川県では大規模災害が起こることはないと思う」40.7%、「事前の備えをしていなくても、自分や家族は大丈夫という自信がある」、「自分や家族は、災害の危険箇所に住んだり、行ったりしない」7.4%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「災害はいつどこで発生するか分からないので、対策は不可能だと思う」66.7%が最も高く、次いで「防災・減災対策よりも優先度が高い課題が他にある」51.9%、「香川県では大規模災害が起こることはないと思う」40.7%、「事前の備えをしていなくても、自分や家族は大丈夫という自信がある」、「自分や家族は、災害の危険箇所に住んだり、行ったりしない」7.4%などとなっている。

図表 1-(3)-1 防災・減災対策が重要でないと思う理由について

		回答数
全体	100.0	27 人
(1) 災害はいつどこで発生するか分からないので、対策は不可能だと思う	63.0	17 人
(2) 防災・減災対策よりも優先度が高い課題が他にある	51.9	14 人
(3) 香川県では大規模災害が起こることはないと思う	40.7	11 人
(4) 事前の備えをしていなくても、自分や家族は大丈夫という自信がある	7.4	2 人
(5) 自分や家族は、災害の危険箇所に住んだり、行ったりしない	7.4	2 人
(6) 自分の職業との関わりがあまりない	0.0	0 人
(7) その他	22.2	6 人
無回答	3.7	1 人

グラフ単位:(%)

(4)防災・減災対策の満足度について

問2 あなたは、防災・減災対策について満足されていますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

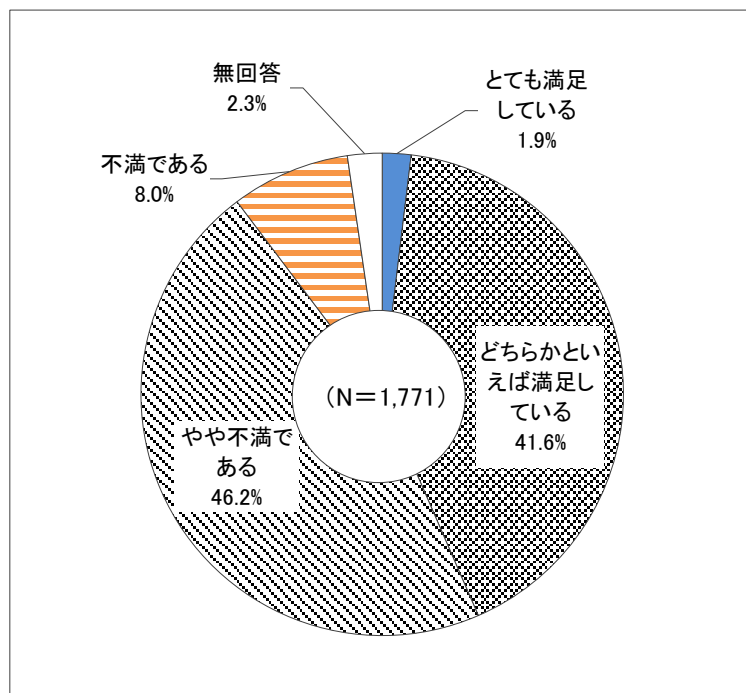
【回答者数=1,771】

1 とても満足している	1.9%(2.1%)
2 どちらかといえば満足している	41.6%(41.6%)
3 やや不満である	46.2%(46.0%)
4 不満である	8.0%(8.0%)
(無回答)	2.3%(2.4%)

防災・減災対策の満足度について、「やや不満である」46.2%が最も高く、次いで「どちらかといえば満足している」41.6%、「不満である」8.0%、「とても満足している」1.9%となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「やや不満である」46.0%が最も高く、次いで「どちらかといえば満足している」41.6%、「不満である」8.0%、「とても満足している」2.1%となっている。

図表 1-(4)-1 防災・減災対策の満足度について



(5) 満足している防災・減災対策の取り組みについて

【問2で「1」または「2」と答えた方にお聞きします】

付問3 あなたが満足されているのは、防災・減災対策のうち、どのような取り組みでしょうか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=770】 ※回答数の多い順に並び替え

1 自分や家族で取り組む対策 (自分の生命・財産を自分で守るための取り組み)	51.8%(53.6%)
2 県や市町で取り組んでいる防災・減災対策	46.4%(45.3%)
3 地域や会社などで取り組む対策 (近所や職域で共に助け合うための取り組み)	44.0%(43.5%)
4 その他	1.6%(1.4%)
(無回答)	1.8%(1.9%)

満足している防災・減災対策の取り組みについて、「自分や家族で取り組む対策（自分の生命・財産を自分で守るための取り組み）」51.8%が最も高く、次いで「県や市町で取り組んでいる防災・減災対策」46.4%、「地域や会社などで取り組む対策（近所や職域で共に助け合うための取り組み）」44.0%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「自分や家族で取り組む対策（自分の生命・財産を自分で守るための取り組み）」53.6%が最も高く、次いで「県や市町で取り組んでいる防災・減災対策」45.3%、「地域や会社などで取り組む対策（近所や職域で共に助け合うための取り組み）」43.5%などとなっている。

図表 1-(5)-1 満足している防災・減災対策の取り組みについて

	割合 (%)	回答数
全体	100.0	770 人
(1) 自分や家族で取り組む対策(自分の生命・財産を自分で守るための取り組み)	51.8	399 人
(2) 県や市町で取り組んでいる防災・減災対策	46.4	357 人
(3) 地域や会社などで取り組む対策(近所や職域で共に助け合うための取り組み)	44.0	339 人
(4) その他	1.6	12 人
無回答	1.8	14 人

グラフ単位:(%)

(6) 不満に思っている防災・減災対策の取り組みについて

【問2で「3」または「4」と答えた方にお聞きします】

付問4 あなたが不満に思っているのは、防災・減災対策のうち、どのような取り組みでしょうか。次の中からあてはまるものをすべて選び、それに伴う付問5、6、7についても、ご回答ください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=960】 ※回答数の多い順に並び替え

1 自分や家族で取り組む対策 (自分の生命・財産を自分で守るための取り組み)	59.6%(60.0%)
2 県や市町で取り組んでいる防災・減災対策	59.2%(58.1%)
3 地域や会社などで取り組む対策 (近所や職域で共に助け合うための取り組み)	49.5%(49.3%)
4 その他(具体的に: _____)	3.6%(3.5%)
(無回答)	0.7%(0.7%)

不満に思っている防災・減災対策の取り組みについて、「自分や家族で取り組む対策(自分の生命・財産を自分で守るための取り組み)」59.6%が最も高く、次いで「県や市町で取り組んでいる防災・減災対策」59.2%、「地域や会社などで取り組む対策(近所や職域で共に助け合うための取り組み)」49.5%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「自分や家族で取り組む対策(自分の生命・財産を自分で守るための取り組み)」60.0%が最も高く、次いで「県や市町で取り組んでいる防災・減災対策」58.1%、「地域や会社などで取り組む対策(近所や職域で共に助け合うための取り組み)」49.3%などとなっている。

図表 1-(6)-1 不満に思っている防災・減災対策の取り組みについて

		回答数
全体	100.0	960 人
(1) 自分や家族で取り組む対策(自分の生命・財産を自分で守るための取り組み)	59.6	572 人
(2) 県や市町で取り組んでいる防災・減災対策	59.2	568 人
(3) 地域や会社などで取り組む対策(近所や職域で共に助け合うための取り組み)	49.5	475 人
(4) その他	3.6	35 人
無回答	0.7	7 人

グラフ単位:(%)

(7) 自分や家族で取り組んでいる防災・減災対策について

【付問4で「1 自分や家族で取り組む対策」と答えた方にお聞きします】

付問5 あなたは、防災・減災に関してどのような取り組みをされていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=572】 ※回答数の多い順に並び替え

1 携帯ラジオや懐中電灯を準備している	65.6%(66.1%)
2 食料や飲料水を備蓄している	40.0%(40.7%)
3 避難場所を決めている	37.9%(38.3%)
4 防災アプリのダウンロードや防災情報メールの登録をしている	21.5%(20.3%)
5 自分の家の耐震性を確保している	19.8%(19.6%)
6 家具や大型電気製品などを固定し、転倒を防止している	18.9%(19.2%)
7 消火器や消火用のバケツを準備している	17.1%(16.8%)
8 特に何もしていない	13.3%(13.5%)
9 家族や親類などと、非常時の連絡方法を決めている	13.1%(13.3%)
10 その他(具体的に：)	3.0%(3.0%)
(無回答)	0.5%(0.5%)

自分や家族で取り組んでいる防災・減災対策について、「携帯ラジオや懐中電灯を準備している」65.6%が最も高く、次いで「食料や飲料水を備蓄している」40.0%、「避難場所を決めている」37.9%、「防災アプリのダウンロードや防災情報メールの登録をしている」21.5%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「携帯ラジオや懐中電灯を準備している」66.1%が最も高く、次いで「食料や飲料水を備蓄している」40.7%、「避難場所を決めている」38.3%、「防災アプリのダウンロードや防災情報メールの登録をしている」20.3%などとなっている。

図表 1-(7)-1 自分や家族で取り組んでいる防災・減災対策について

	割合 (%)	回答数
全体	100.0	572 人
(1) 携帯ラジオや懐中電灯を準備している	65.6	375 人
(2) 食料や飲料水を備蓄している	40.0	229 人
(3) 避難場所を決めている	37.9	217 人
(4) 防災アプリのダウンロードや防災情報メールの登録をしている	21.5	123 人
(5) 自分の家の耐震性を確保している	19.8	113 人
(6) 家具や大型電気製品などを固定し、転倒を防止している	18.9	108 人
(7) 消火器や消火用のバケツを準備している	17.1	98 人
(8) 特に何もしていない	13.3	76 人
(9) 家族や親類などと、非常時の連絡方法を決めている	13.1	75 人
(10) その他	3.0	17 人
無回答	0.5	3 人

グラフ単位:(%)

(8) 地域や会社などで取り組んでいる防災・減災対策について

【付問4で「2 地域や会社などで取り組む対策」と答えた方にお聞きします】

付問6 あなたは、防災・減災に関してどのような取り組みをされていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=475】 ※回答数の多い順に並び替え

1 特に何もしていない	43.6%(43.8%)
2 勤めている会社や通っている学校などで、災害時のための訓練を行っている	26.1%(26.1%)
3 隣近所で、高齢者や身体が不自由な方など災害時に配慮が必要な人を把握している	16.2%(16.4%)
4 勤めている会社などで被災した場合に備え、職場などに食品や飲料水を備蓄している	14.7%(14.8%)
5 新聞やニュースなどで防災に関する情報を収集し、隣近所や職場などで共有している	9.7%(9.9%)
6 消防団や自主防災組織の活動に参加している	7.2%(7.2%)
7 自分の居住する地域やマンションなどで、災害時に備えた取り決めや会議などを行っている	5.7%(5.8%)
8 防災士の資格を取得している	0.6%(0.7%)
9 その他（具体的に：_____） （無回答）	5.3%(5.0%) 2.1%(2.0%)

地域や会社などで取り組んでいる防災・減災対策について、「特に何もしていない」43.6%が最も高く、次いで「勤めている会社や通っている学校などで、災害時のための訓練を行っている」26.1%、「隣近所で、高齢者や身体が不自由な方など災害時に配慮が必要な人を把握している」16.2%、「勤めている会社などで被災した場合に備え、職場などに食品や飲料水を備蓄している」14.7%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「特に何もしていない」43.8%が最も高く、次いで「勤めている会社や通っている学校などで、災害時のための訓練を行っている」26.1%、「隣近所で、高齢者や身体が不自由な方など災害時に配慮が必要な人を把握している」16.4%、「勤めている会社などで被災した場合に備え、職場などに食品や飲料水を備蓄している」14.8%などとなっている。

図表 1-(8)-1 地域や会社などで取り組んでいる防災・減災対策について

		回答数
全体	100.0	475 人
(1) 特に何もしていない	43.6	207 人
(2) 勤めている会社や通っている学校などで、災害時のための訓練を行っている	26.1	124 人
(3) 隣近所で、高齢者や身体が不自由な方など災害時に配慮が必要な人を把握している	16.2	77 人
(4) 勤めている会社などで被災した場合に備え、職場などに食品や飲料水を備蓄している	14.7	70 人
(5) 新聞やニュースなどで防災に関する情報を収集し、隣近所や職場などで共有している	9.7	46 人
(6) 消防団や自主防災組織の活動に参加している	7.2	34 人
(7) 自分の居住する地域やマンションなどで、災害時に備えた取り決めや会議などを行っている	5.7	27 人
(8) 防災士の資格を取得している	0.6	3 人
(9) その他	5.3	25 人
無回答	2.1	10 人

グラフ単位:(%)

(9) 不満に思っている県や市町の防災・減災対策について

【付問4で「3 県や市町で取り組んでいる防災・減災対策」と答えた方にお聞きします】

付問7 あなたは、現在、県や市町で取り組んでいる防災・減災対策のうち、どのような点について不満に思っていますか。次の中から3つまで選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=568】※回答数の多い順に並び替え

1	県や市町がどんな防災・減災対策に取り組んでいるのかを知らない	43.3%(41.7%)
2	命を守るためのスキルやノウハウが身に付くような実践的な防災教育が十分でない	25.5%(24.6%)
3	避難所の開設状況や避難勧告の発令など、災害時の情報提供が十分でない	23.2%(23.1%)
4	災害時の住民に対する情報の伝達手段が十分でない	23.1%(22.5%)
5	県や市町がいくら防災・減災対策に取り組んでも、絶対に安全であるとは言いきれない	18.8%(18.3%)
6	保存食や防災グッズなどの住民に対する配布が十分でない	18.0%(18.0%)
7	堤防のかさ上げなどのハード整備が十分でない	17.8%(16.7%)
8	住宅の耐震化や家具の転倒防止の呼びかけなどの普及啓発や支援が十分でない	15.5%(15.3%)
9	避難所の指定や、ハザードマップの作成など、事前の準備が十分でない	15.5%(15.0%)
10	避難所における食料、飲料水、医薬品などの備蓄が十分でない	9.7%(9.7%)
11	地域の自主防災組織や消防団の活動に対する支援が十分でない	6.5%(6.3%)
12	その他（具体的に_____）	8.3%(8.1%)
	（無回答）	11.1%(11.1%)

不満に思っている県や市町の防災・減災対策について、「県や市町がどんな防災・減災対策に取り組んでいるのかを知らない」43.3%が最も高く、次いで「命を守るためのスキルやノウハウが身に付くような実践的な防災教育が十分でない」25.5%、「避難所の開設状況や避難勧告の発令など、災害時の情報提供が十分でない」23.2%、「災害時の住民に対する情報の伝達手段が十分でない」23.1%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「県や市町がどんな防災・減災対策に取り組んでいるのかを知らない」41.7%が最も高く、次いで「命を守るためのスキルやノウハウが身に付くような実践的な防災教育が十分でない」24.6%、「避難所の開設状況や避難勧告の発令など、災害時の情報提供が十分でない」23.1%、「災害時の住民に対する情報の伝達手段が十分でない」22.5%などとなっている。

図表 1-(9)-1 不満に思っている県や市町の防災・減災対策について

		回答数
全体	100.0	568 人
(1) 県や市町がどんな防災・減災対策に取り組んでいるのかを知らない	43.3	246 人
(2) 命を守るためのスキルやノウハウが身に付くような実践的な防災教育が十分でない	25.5	145 人
(3) 避難所の開設状況や避難勧告の発令など、災害時の情報提供が十分でない	23.2	132 人
(4) 災害時の住民に対する情報の伝達手段が十分でない	23.1	131 人
(5) 県や市町がいくら防災・減災対策に取り組んでも、絶対に安全であるとは言いきれない	18.8	107 人
(6) 保存食や防災グッズなどの住民に対する配布が十分でない	18.0	102 人
(7) 堤防のかさ上げなどのハード整備が十分でない	17.8	101 人
(8) 住宅の耐震化や家具の転倒防止の呼びかけなどの普及啓発や支援が十分でない	15.5	88 人
(9) 避難所の指定や、ハザードマップの作成など、事前の準備が十分でない	15.5	88 人
(10) 避難所における食料、飲料水、医薬品などの備蓄が十分でない	9.7	55 人
(11) 地域の自主防災組織や消防団の活動に対する支援が十分でない	6.5	37 人
(12) その他	8.3	47 人
無回答	11.1	63 人

グラフ単位：(%)

(10) 不満に思っている県や市町の防災・減災対策への具体的な意見について

【付問7を答えた方にお聞きします】

付問8 回答された選択肢について、具体的な意見があれば選択肢番号と具体的な意見内容をそれぞれ記入してください。
258件中意見を抜粋

「1. 避難所の指定や、ハザードマップの作成など、事前の準備が十分でない」

- ・ハザードマップが見にくい。近くに避難場所が複数あり、どこに行けばよいか分からない。
- ・住宅の場所によっては、指定の避難場所は遠く、適切でない場合がある。
- ・避難所がむしろ危険な場所だと感じる。主に水害など。

「2. 避難所の開設状況や避難勧告の発令など、災害時の情報提供が十分でない」

- ・防災ラジオはあるが、高齢者はスイッチを切っている人がほとんど。外のスピーカー放送は反響して何を言っているか聞き取れない。
- ・連合自治会に入っていない住民は情報提供が十分ではないのでは。

「3. 堤防のかさ上げなどのハード整備が十分でない」

- ・工事をしているが成果が分からない。
- ・近所の池は古くからあるが特に対策していない。いつ対策するのか不安。
- ・堤防や道路の劣化などチェックしてほしい。

「4. 避難所における食料、飲料水、医薬品などの備蓄が十分でない」

- ・避難所に水など常に備蓄しているのかなど具体的なことを知らせてほしい。災害時、水・食料などは避難所で配布するのかなど日頃から具体的なことを教えてほしい。
- ・日本の避難所のレベルは先進国の中でまちがいなくワースト1位だと思う。環境を整えてほしい。

「5. 住宅の耐震化や家具の転倒防止の呼びかけなどの普及啓発や支援が十分でない」

- ・耐震化の呼びかけは極めて少ない。補助が出ることすら知らない方が多い。
- ・支援があるのは知っているが、手続き等面倒で使いにくい。賃貸物件だと使いにくい。

「6. 地域の自主防災組織や消防団の活動に対する支援が十分でない」

- ・自主防災組織や消防団の活動が、組織まかせで末端まで周知できていないと思われる。

「7. 命を守るためのスキルやノウハウが身に付くような実践的な防災教育が十分でない」

- ・防災教育を受けたことがない。
- ・自治体が防災訓練等を定期的実施すべき。
- ・自治会、青年部など地域ごとの防災教育を指導できる人材を県・市町で育成してほしい。頭数がいればよいのではなく指導できるような人材を育成してほしい。

「8. 保存食や防災グッズなどの住民に対する配布が十分でない」

- ・自分で防災グッズを購入したが高額だった。支援金が出ればありがたい。
- ・企業と連携し、保存食のサンプル配布を行う。
- ・実物が難しいとしても、標準的な品揃え・品目の分かる情報提供がほしい。パンフ・小冊子。

「9. 災害時の住民に対する情報の伝達手段が十分でない」

- ・防災無線が聞こえない。
- ・新しい団地等、自治組織がないところは情報・物資等の入手が困難であると感じるので不安に思っている。
- ・防災メール登録の有無にかかわらず、知る術があった方が安心。

「10. 県や市町がどんな防災・減災対策に取り組んでいるのかを知らない」

- ・市報等には書いているかもしれないが読まない。テレビなら目に入る機会も多い。
- ・それぞれの年齢層に合わせて、広告、SNS、新聞など目につきやすい場所での周知をしてほしい。
- ・自治体ごとに細かい周知の機会を設けてほしい。

「11. 県や市町がいくら防災・減災対策に取り組んでも、絶対に安全であるとは言いきれない」

- ・いつ、どこで予想しない災害が近年多いため、個々人の意識を高める教育が必要。

(11) 県や市町に力を入れて取り組んでもらいたい防災・減災対策について

問3 今後、県や市町に特に力を入れて取り組んでもらいたい防災・減災対策は何ですか。次の中から3つまで選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,771】 ※回答数の多い順に並び替え

1	支援物資が確実に避難所に届く体制づくり	50.1%(50.3%)
2	食料、飲料水、医薬品などの備蓄	44.7%(45.8%)
3	災害時における被害情報の把握と迅速な情報提供	39.1%(38.7%)
4	避難所での快適な生活環境づくり	38.7%(38.5%)
5	避難所やハザードマップなどの情報提供	17.3%(17.4%)
6	防災に関する広報啓発、防災教育など防災意識の普及・啓発	15.9%(15.4%)
7	堤防のかさ上げなどのハード整備	14.5%(14.3%)
8	地域の自主防災組織や消防団の活動に対する支援	10.2%(9.8%)
9	防災訓練の充実	9.5%(9.5%)
10	災害に関する計画の充実	9.0%(8.7%)
11	近県との広域応援体制の確立	6.9%(6.6%)
12	ボランティア活動に対する支援体制づくり	6.4%(6.3%)
13	その他（具体的に：_____）	3.2%(3.2%)
14	特にない	0.7%(0.8%)
	（無回答）	5.1%(5.1%)

県や市町に力を入れて取り組んでもらいたい防災・減災対策について、「支援物資が確実に避難所に届く体制づくり」50.1%が最も高く、次いで「食料、飲料水、医薬品などの備蓄」44.7%、「災害時における被害情報の把握と迅速な情報提供」39.1%、「避難所での快適な生活環境づくり」38.7%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「支援物資が確実に避難所に届く体制づくり」50.3%が最も高く、次いで「食料、飲料水、医薬品などの備蓄」45.8%、「災害時における被害情報の把握と迅速な情報提供」38.7%、「避難所での快適な生活環境づくり」38.5%などとなっている。

図表 1-(11)-1 県や市町に力を入れて取り組んでもらいたい防災・減災対策について

		回答数
全体	100.0	1,771 人
(1) 支援物資が確実に避難所に届く体制づくり	50.1	887 人
(2) 食料、飲料水、医薬品などの備蓄	44.7	791 人
(3) 災害時における被害情報の把握と迅速な情報提供	39.1	693 人
(4) 避難所での快適な生活環境づくり	38.7	686 人
(5) 避難所やハザードマップなどの情報提供	17.3	307 人
(6) 防災に関する広報啓発、防災教育など防災意識の普及・啓発	15.9	281 人
(7) 堤防のかさ上げなどのハード整備	14.5	256 人
(8) 地域の自主防災組織や消防団の活動に対する支援	10.2	180 人
(9) 防災訓練の充実	9.5	169 人
(10) 災害に関する計画の充実	9.0	159 人
(11) 近県との広域応援体制の確立	6.9	122 人
(12) ボランティア活動に対する支援体制づくり	6.4	114 人
(13) その他	3.2	57 人
(14) 特にない	0.7	13 人
無回答	5.1	90 人

グラフ単位：(%)

2. かがわの里海づくりについて

(1) 香川県の海や海辺でのふれあいやレジャーの機会について

問4 あなたは、香川県の海や海辺でのふれあいやレジャーの機会をどのくらい持っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

また、2～5を選んだ方は、よろしければ、その内容もお聞かせください。(例：海水浴・ごみ拾い・散策など)

※ () 内の割合はウェイトバックした値

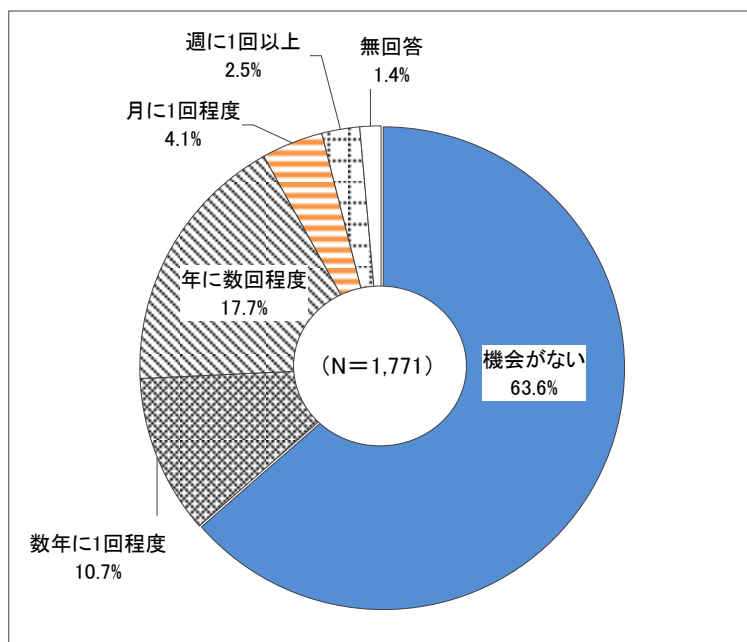
【回答者数=1,771】

1	機会がない		63.6%(62.1%)
2	数年に1回程度	(内容：)	10.7%(10.7%)
3	年に数回程度	(内容：)	17.7%(18.6%)
4	月に1回程度	(内容：)	4.1%(4.5%)
5	週に1回以上	(内容：)	2.5%(2.5%)
	(無回答)		1.4%(1.5%)

香川県の海や海辺でのふれあいやレジャーの機会について、「機会がない」63.6%が最も高く、次いで「年に数回程度」17.7%、「数年に1回程度」10.7%、「月に1回程度」4.1%、「週に1回以上」2.5%となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「機会がない」62.1%が最も高く、次いで「年に数回程度」18.6%、「数年に1回程度」10.7%、「月に1回程度」4.5%、「週に1回以上」2.5%となっている。

図表 2-(1)-1 香川県の海や海辺でのふれあいやレジャーの機会について



香川県の海や海辺でのふれあいやレジャーの機会にどのようなことを行っているかについて、「海レジャー」47.3%が最も高く、次いで「散策」35.5%、「屋外レジャー」6.9%などとなっている。

図表 2-(1)-2 【香川県の海や海辺でのふれあいやレジャーの機会にどのようなことを行っているか】

		回答数
全体	100.0	620 人
(1) 海レジャー(海水浴、釣りなど)	47.3	293 人
(2) 散策(ごみ拾い含む)	35.5	220 人
(3) 屋外レジャー(キャンプ、バーベキュー、花火など)	6.9	43 人
(4) ドライブ	1.5	9 人
(5) その他	11.6	72 人
(6) 無回答	5.5	34 人

グラフ単位：(%)

(2)「香川の海」の満足度について

問5 あなたは、「香川の海」について、どの程度満足していますか。項目ごとに、それぞれ1～5のうち、あてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

※ ()内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,771】

(単位:%)

項目	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	無回答
美しい海 (ごみがない、水質がきれい、 景観など)	6.6 (6.7)	34.9 (34.0)	32.0 (31.8)	16.3 (16.8)	6.7 (7.1)	3.5 (3.6)
生物が多様な海 (魚が豊富、様々な生物が生息 など)	7.2 (7.5)	36.3 (35.8)	40.4 (40.0)	9.2 (9.5)	2.6 (2.7)	4.3 (4.5)
交流と賑わいのある海 (海のレジャー、アートなど)	6.0 (5.9)	30.1 (30.3)	47.5 (46.8)	8.5 (8.6)	3.0 (3.3)	4.9 (5.1)

美しい海の満足度について、「まあ満足している」34.9%が最も高く、次いで「どちらともいえない」32.0%、「やや不満である」16.3%などとなっている。

生物が多様な海の満足度について、「どちらともいえない」40.4%が最も高く、次いで「まあ満足している」36.3%、「やや不満である」9.2%などとなっている。

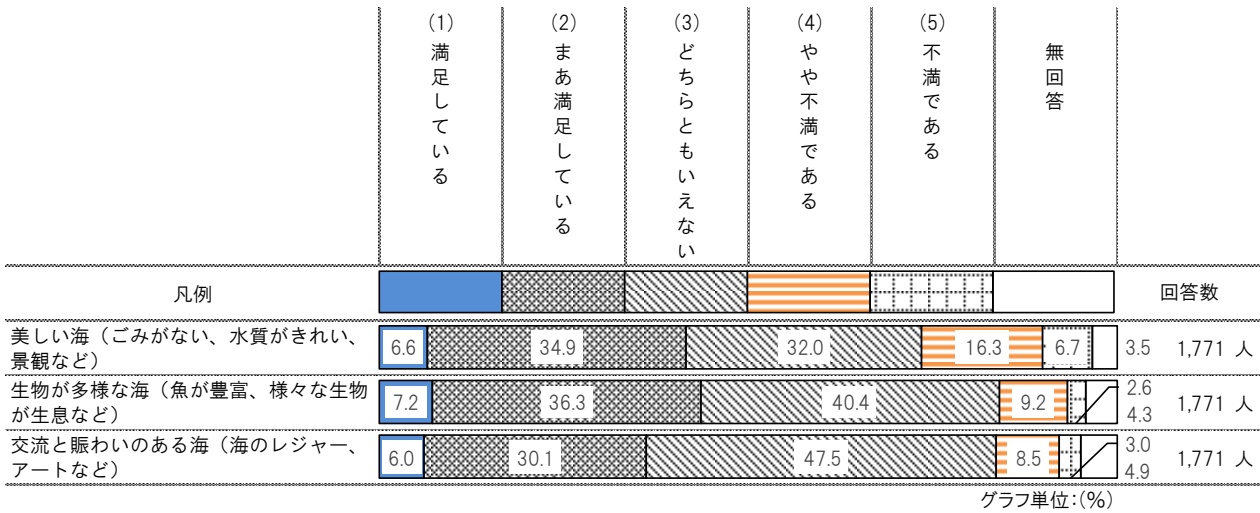
交流と賑わいのある海の満足度について、「どちらともいえない」47.5%が最も高く、次いで「まあ満足している」30.1%、「やや不満である」8.5%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、美しい海の満足度について、「まあ満足している」34.0%が最も高く、次いで「どちらともいえない」31.8%、「やや不満である」16.8%などとなっている。

生物が多様な海の満足度について、「どちらともいえない」40.0%が最も高く、次いで「まあ満足している」35.8%、「やや不満である」9.5%などとなっている。

交流と賑わいのある海の満足度について、「どちらともいえない」46.8%が最も高く、次いで「まあ満足している」30.3%、「やや不満である」8.6%などとなっている。

図表 2-(2)-1 「香川の海」の満足度について



(3)「香川の家」の望ましい姿、あるべき姿について

問6 あなたが思い描く「香川の家」の望ましい姿、あるべき姿とはどのようなものですか。次の中から3つまで選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,771】※回答数の多い順に並び替え

1	ごみのない海	82.3%(82.0%)
2	水質のきれいな海	68.8%(68.9%)
3	海の幸(魚介類)が豊富な海	51.7%(51.2%)
4	多島美など、景観の美しい海	36.0%(34.3%)
5	アートなど、人が訪れ、交流を広げる海	16.5%(17.1%)
6	海水浴やカヤックなど身近に楽しめる海	14.2%(15.2%)
7	伝統的な文化が息づく海	7.9%(8.0%)
8	スナメリやウミホタルに会える海	6.5%(6.7%)
9	その他(具体的に：_____)	1.0%(1.2%)
	(無回答)	0.7%(0.7%)

「香川の家」の望ましい姿、あるべき姿について、「ごみのない海」82.3%が最も高く、次いで「水質のきれいな海」68.8%、「海の幸(魚介類)が豊富な海」51.7%、「多島美など、景観の美しい海」36.0%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「ごみのない海」82.0%が最も高く、次いで「水質のきれいな海」68.9%、「海の幸(魚介類)が豊富な海」51.2%、「多島美など、景観の美しい海」34.3%などとなっている。

図表 2-(3)-1 「香川の家」の望ましい姿、あるべき姿について

	割合	回答数
全体	100.0	1,771 人
(1) ごみのない海	82.3	1,458 人
(2) 水質のきれいな海	68.8	1,219 人
(3) 海の幸(魚介類)が豊富な海	51.7	916 人
(4) 多島美など、景観の美しい海	36.0	638 人
(5) アートなど、人が訪れ、交流を広げる海	16.5	293 人
(6) 海水浴やカヤックなど身近に楽しめる海	14.2	251 人
(7) 伝統的な文化が息づく海	7.9	140 人
(8) スナメリやウミホタルに会える海	6.5	115 人
(9) その他	1.0	18 人
無回答	0.7	12 人

グラフ単位:(%)

(4)「里海」の認知度について

問7 あなたは「里海」という言葉や意味をどの程度知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

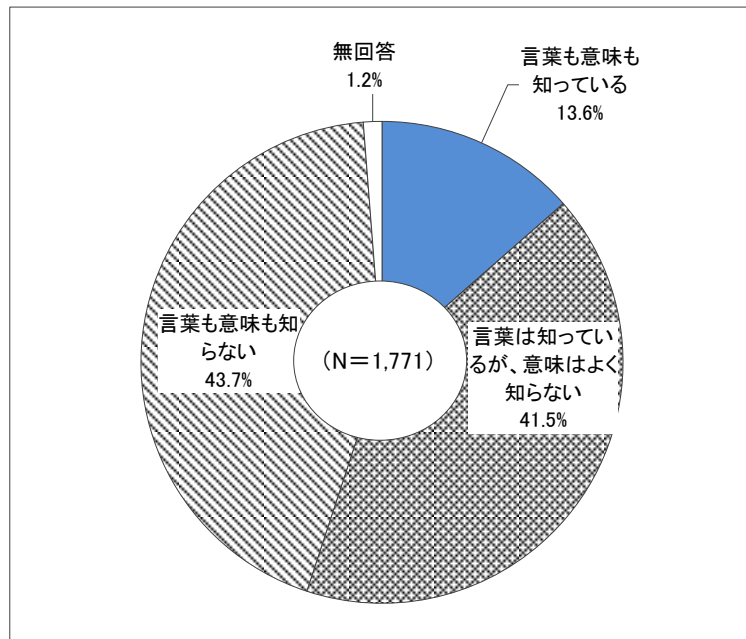
【回答者数=1,771】

1 言葉も意味も知っている	13.6%(13.5%)
2 言葉は知っているが、意味はよく知らない	41.5%(40.7%)
3 言葉も意味も知らない	43.7%(44.5%)
(無回答)	1.2%(1.4%)

「里海」の認知度について、「言葉も意味も知らない」43.7%が最も高く、次いで「言葉は知っているが、意味はよく知らない」41.5%、「言葉も意味も知っている」13.6%となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「言葉も意味も知らない」44.5%が最も高く、次いで「言葉は知っているが、意味はよく知らない」40.7%、「言葉も意味も知っている」13.5%となっている。

図表 2-(4)-1 「里海」の認知度について



(5)「里海づくり」の推進に関する認知度について

問8 「里海」とは、海だけでなく、海の生態系に大きな関連を持つ山や川、そして、私たちが生活する里（まち）も含めて、海域・陸域を一体的に捉え、人が適切に関わることで守り育む「豊かな海」のことです。香川県では、全県域・県民みんなが参加する「里海づくり」を推進していますが、そのことを知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

※（）内の割合はウェイトバックした値

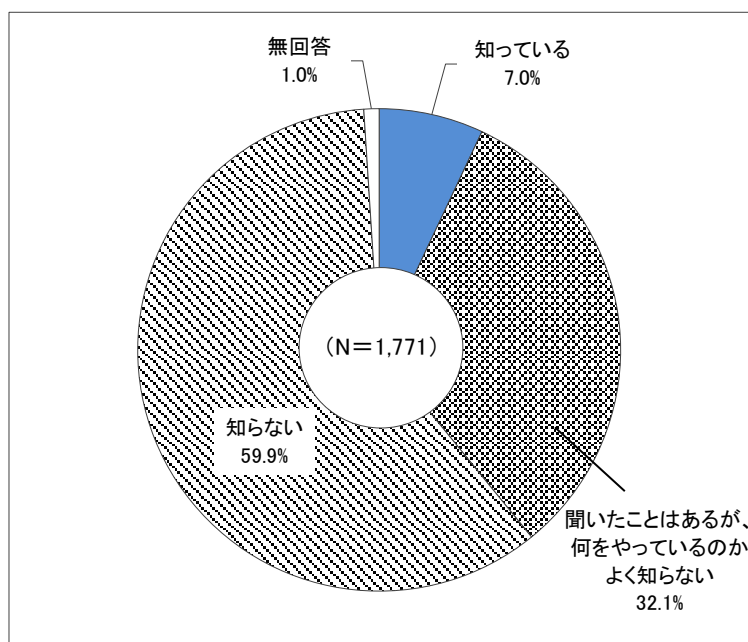
【回答者数=1,771】

1 知っている	7.0%(7.2%)
2 聞いたことはあるが、何をやっているのかよく知らない	32.1%(31.6%)
3 知らない	59.9%(60.2%)
(無回答)	1.0%(1.0%)

「里海づくり」の推進に関する認知度について、「知らない」59.9%が最も高く、次いで「聞いたことはあるが、何をやっているのかよく知らない」32.1%、「知っている」7.0%となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「知らない」60.2%が最も高く、次いで「聞いたことはあるが、何をやっているのかよく知らない」31.6%、「知っている」7.2%となっている。

図表 2-(5)-1 「里海づくり」の推進に関する認知度について



(6)環境保全の取り組みや参加した活動について

問9 「里海づくり」は、活動の場所、取り組み内容など、とても多様です。香川の山や川、海などの環境保全のために取り組んでいることや、参加したことのある活動はありますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,771】※回答数の多い順に並び替え

1	ごみをポイ捨てしない	79.2%(78.8%)
2	家庭から油や固形物を流さない	51.4%(50.5%)
3	節水	44.8%(44.7%)
4	家庭や地域で花や木などの緑を育てる	41.3%(41.3%)
5	川や水路などの清掃活動	35.1%(34.5%)
6	洗剤や石けんなどの適量使用	32.8%(32.6%)
7	3R（リデュース、リユース、リサイクル）の実施	27.4%(27.8%)
8	山や木に親しむ	18.3%(18.7%)
9	水産物の地産地消	15.1%(15.0%)
10	海辺・海岸の清掃活動	12.7%(12.5%)
11	農薬・肥料などの適量使用	12.1%(12.2%)
12	田畑の積極的な利用	12.0%(12.0%)
13	間伐材を利用した箸などの利用	8.2%(8.2%)
14	環境学習	7.0%(8.2%)
15	山の清掃活動	6.9%(7.2%)
16	植樹・間伐	5.8%(5.8%)
17	川に生息する生き物の調査・保全活動	3.2%(3.3%)
18	川の水質調査	3.1%(3.2%)
19	海の水質調査	2.8%(2.9%)
20	海に生息する生き物の調査・保全活動	2.5%(2.6%)
21	山に生息する動植物の調査・保全活動	2.0%(2.0%)
22	藻場・干潟などの保全・再生活動	1.0%(1.0%)
23	その他（具体的に：_____）	1.8%(1.8%)
	（無回答）	7.2%(7.3%)

環境保全の取り組みや参加した活動について、「ごみをポイ捨てしない」79.2%が最も高く、次いで「家庭から油や固形物を流さない」51.4%、「節水」44.8%、「家庭や地域で花や木などの緑を育てる」41.3%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「ごみをポイ捨てしない」78.8%が最も高く、次いで「家庭から油や固形物を流さない」50.5%、「節水」44.7%、「家庭や地域で花や木などの緑を育てる」41.3%などとなっている。

図表 2-(6)-1 環境保全の取り組みや参加した活動について

		回答数
全体	100.0	1,771 人
(1) ごみをポイ捨てしない	79.2	1,403 人
(2) 家庭から油や固形物を流さない	51.4	910 人
(3) 節水	44.8	793 人
(4) 家庭や地域で花や木などの緑を育てる	41.3	732 人
(5) 川や水路などの清掃活動	35.1	621 人
(6) 洗剤や石けんなどの適量使用	32.8	581 人
(7) 3R(リデュース、リユース、リサイクル)の実施	27.4	486 人
(8) 山や木に親しむ	18.3	324 人
(9) 水産物の地産地消	15.1	268 人
(10) 海辺・海岸の清掃活動	12.7	225 人
(11) 農業・肥料などの適量使用	12.1	215 人
(12) 田畑の積極的な利用	12.0	212 人
(13) 間伐材を利用した箸などの利用	8.2	145 人
(14) 環境学習	7.0	124 人
(15) 山の清掃活動	6.9	123 人
(16) 植樹・間伐	5.8	102 人
(17) 川に生息する生き物の調査・保全活動	3.2	57 人
(18) 川の水質調査	3.1	55 人
(19) 海の水質調査	2.8	50 人
(20) 海に生息する生き物の調査・保全活動	2.5	44 人
(21) 山に生息する動植物の調査・保全活動	2.0	35 人
(22) 藻場・干潟などの保全・再生活動	1.0	18 人
(23) その他	1.8	32 人
無回答	7.2	127 人

グラフ単位:(%)

(7)生活が海に及ぼす影響を考える頻度について

問10 近年、海洋プラスチックごみが国際的な問題となっており、本県の「里海づくり」でも海ごみを重要課題の一つと位置付けています。瀬戸内海の家ごみは、プラスチック製品や発泡スチロールなどの生活ごみが大半を占めていますが、海ごみに限らず、あなたは、普段の生活が海に及ぼす影響について考えることがありますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

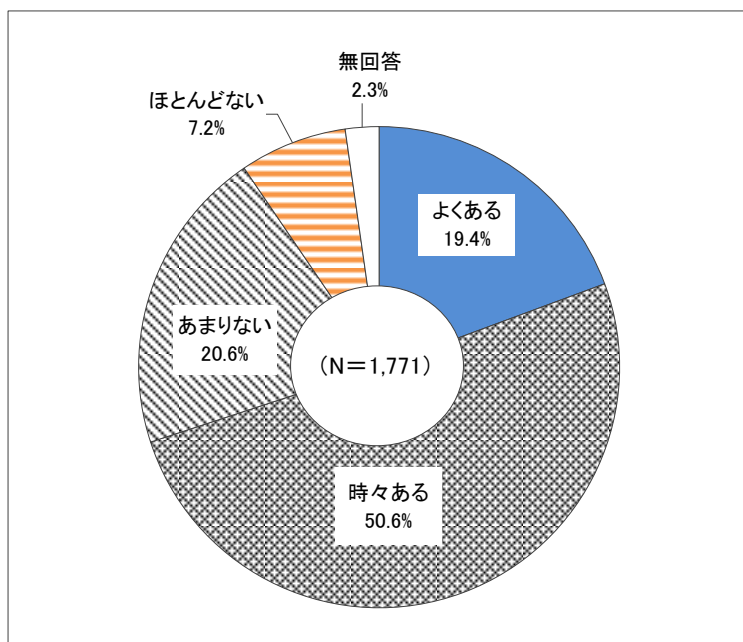
【回答者数=1,771】

1 よくある	19.4%(19.5%)
2 時々ある	50.6%(50.1%)
3 あまりない	20.6%(20.5%)
4 ほとんどない	7.2%(7.7%)
(無回答)	2.3%(2.3%)

生活が海に及ぼす影響を考える頻度について、「時々ある」50.6%が最も高く、次いで「あまりない」20.6%、「よくある」19.4%、「ほとんどない」7.2%となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「時々ある」50.1%が最も高く、次いで「あまりない」20.5%、「よくある」19.5%、「ほとんどない」7.7%となっている。

図表 2-(7)-1 生活が海に及ぼす影響を考える頻度について



(8) 県民の参加を促すための県の「里海づくり」施策で重要なものについて

問11 「里海づくり」には、多くの県民の方々の参加が必要です。参加を促すために県が実施する施策について、どのようなことが重要だと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,771】※回答数の多い順に並び替え

1 幅広い県民への分かりやすい啓発広報活動	51.2%(50.5%)
2 学校などの環境教育・環境学習の場としての海の活用	45.3%(44.8%)
3 里海づくりに参加できる活動の場の提供	34.9%(35.3%)
4 地域の中心となって里海づくりをけん引する人材の育成	24.4%(24.6%)
5 企業など社会貢献活動として行う里海づくり活動 (例えば、従業員による海岸清掃など)への支援	23.5%(23.5%)
6 その他(具体的に: _____) (無回答)	2.0%(2.1%) 2.6%(2.7%)

県民の参加を促すための県の「里海づくり」施策で重要なものについて、「幅広い県民への分かりやすい啓発広報活動」51.2%が最も高く、次いで「学校などの環境教育・環境学習の場としての海の活用」45.3%、「里海づくりに参加できる活動の場の提供」34.9%、「地域の中心となって里海づくりをけん引する人材の育成」24.4%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「幅広い県民への分かりやすい啓発広報活動」50.5%が最も高く、次いで「学校などの環境教育・環境学習の場としての海の活用」44.8%、「里海づくりに参加できる活動の場の提供」35.3%、「地域の中心となって里海づくりをけん引する人材の育成」24.6%などとなっている。

図表 2-(8)-1 県民の参加を促すための県の「里海づくり」施策で重要なものについて

	割合 (%)	回答数
全体	100.0	1,771 人
(1) 幅広い県民への分かりやすい啓発広報活動	51.2	907 人
(2) 学校などの環境教育・環境学習の場としての海の活用	45.3	802 人
(3) 里海づくりに参加できる活動の場の提供	34.9	618 人
(4) 地域の中心となって里海づくりをけん引する人材の育成	24.4	433 人
(5) 企業など社会貢献活動として行う里海づくり活動(例えば、従業員による海岸清掃など)への支援	23.5	416 人
(6) その他	2.0	35 人
無回答	2.6	46 人

グラフ単位:(%)

(9)「里海づくり」の啓発広報活動の効果的な方法について

問12 「里海づくり」の啓発広報活動について、どのような方法が効果的だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,771】※回答数の多い順に並び替え

1	テレビ・ラジオによる広報	53.0%(53.0%)
2	里海に関する県民向けの講座や小・中学校などへの出前授業の開催	51.1%(50.6%)
3	県・市町の広報誌	43.1%(42.4%)
4	インターネット・SNSによる広報	34.3%(36.1%)
5	里海に親しめるフィールドでのイベントの開催	33.1%(32.9%)
6	新聞広告	20.4%(20.0%)
7	パンフレット・ポスターの作成	19.0%(19.0%)
8	講演会・シンポジウムの開催	7.5%(7.3%)
9	その他（具体的に：_____）	2.0%(2.0%)
	（無回答）	2.0%(2.1%)

「里海づくり」の啓発広報活動の効果的な方法について、「テレビ・ラジオによる広報」53.0%が最も高く、次いで「里海に関する県民向けの講座や小・中学校などへの出前授業の開催」51.1%、「県・市町の広報誌」43.1%、「インターネット・SNSによる広報」34.3%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「テレビ・ラジオによる広報」53.0%が最も高く、次いで「里海に関する県民向けの講座や小・中学校などへの出前授業の開催」50.6%、「県・市町の広報誌」42.4%、「インターネット・SNSによる広報」36.1%などとなっている。

図表 2-(9)-1 「里海づくり」の啓発広報活動の効果的な方法について

	割合	回答数
全体	100.0	1,771 人
(1) テレビ・ラジオによる広報	53.0	939 人
(2) 里海に関する県民向けの講座や小・中学校などへの出前授業の開催	51.1	905 人
(3) 県・市町の広報誌	43.1	763 人
(4) インターネット・SNSによる広報	34.3	607 人
(5) 里海に親しめるフィールドでのイベントの開催	33.1	586 人
(6) 新聞広告	20.4	362 人
(7) パンフレット・ポスターの作成	19.0	337 人
(8) 講演会・シンポジウムの開催	7.5	133 人
(9) その他	2.0	35 人
無回答	2.0	35 人

グラフ単位：(%)

3. 運動・スポーツについて

(1) 過去1年間に運動やスポーツを行った日数について

問13 過去1年間に、運動やスポーツ（ウォーキング（例：散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩き）、階段昇降、軽い体操（例：ラジオ体操・職場体操・美容体操）、野外活動（例：登山・キャンプ・釣り）などを含む。）を行った日数はどのくらいありますか。次の中から1つだけ選んでください。

※（）内の割合はウェイトバックした値

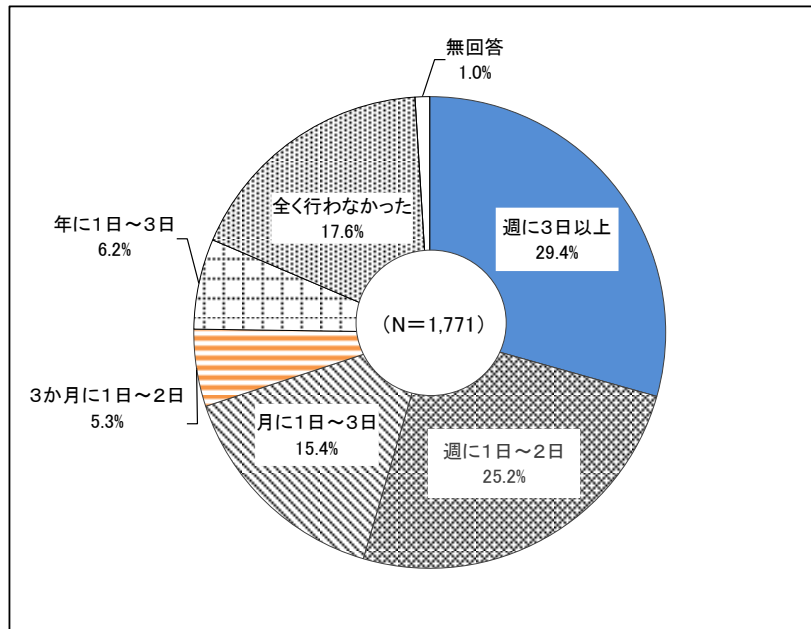
【回答者数=1,771】

1 週に3日以上	29.4% (30.2%)
2 週に1日～2日	25.2% (24.9%)
3 月に1日～3日	15.4% (15.8%)
4 3か月に1日～2日	5.3% (5.3%)
5 年に1日～3日	6.2% (5.8%)
6 全く行わなかった (無回答)	17.6% (17.1%) 1.0% (1.0%)

過去1年間に運動やスポーツを行った日数について、「週に3日以上」29.4%が最も高く、次いで「週に1日～2日」25.2%、「全く行わなかった」17.6%、「月に1日～3日」15.4%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「週に3日以上」30.2%が最も高く、次いで「週に1日～2日」24.9%、「全く行わなかった」17.1%、「月に1日～3日」15.8%などとなっている。

図表 3-(1)-1 過去1年間に運動やスポーツを行った日数について



(2)実施頻度の高い運動やスポーツの種目について

【問13で「1」～「5」と答えた方にお聞きします】

付問9 実施した運動やスポーツのうち、頻度の高い種目を3つまで記入してください。(学校の授業や、職業として行ったものは除きます。)

【回答者数=1,443】※回答数の多い順に並び替え

1	ウォーキング・散歩散策	82.4%
2	体操・ストレッチ	32.2%
3	スポーツジム・スポーツクラブ・フィットネスジム	8.9%
4	釣り	7.6%
5	階段利用	7.1%
6	サイクリング	6.4%
7	ゴルフ	6.0%
8	ジョギング・ランニング・マラソン	5.4%
9	ヨガ	3.7%
10	バレーボール	2.6%
	(無回答)	3.1%

※上位10項目のみ記載

実施頻度の高い運動やスポーツの種目について、「ウォーキング・散歩散策」82.4%が最も高く、次いで「体操・ストレッチ」32.2%、「スポーツジム・スポーツクラブ・フィットネスジム」8.9%、「釣り」7.6%などとなっている。

図表 3-(2)-1 実施頻度の高い運動やスポーツの種目について

	割合 (%)	回答数
全体	100.0	1,443 人
(1) ウォーキング・散歩散策	82.4	1,189 人
(2) 体操・ストレッチ	32.2	464 人
(3) スポーツジム・スポーツクラブ・フィットネスジム	8.9	129 人
(4) 釣り	7.6	109 人
(5) 階段利用	7.1	103 人
(6) サイクリング	6.4	92 人
(7) ゴルフ	6.0	87 人
(8) ジョギング・ランニング・マラソン	5.4	78 人
(9) ヨガ	3.7	53 人
(10) バレーボール	2.6	37 人
無回答	3.1	45 人

グラフ単位:(%)

(3)運動やスポーツを行った目的やきっかけについて

付問10 過去1年間、運動やスポーツを行った目的やきっかけはどのようなものですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,443】※回答数の多い順に並び替え

1 体力維持または向上のため	64.9%(64.8%)
2 気分転換になるから	52.4%(52.9%)
3 体重維持または減量のため	39.4%(39.6%)
4 筋力維持または強化のため	38.6%(38.4%)
5 趣味だから	22.9%(23.3%)
6 スポーツ仲間との交流や新しい人との出会いがあるから	15.8%(16.1%)
7 医師等に勧められたから	10.2%(9.7%)
8 自己の記録や能力を向上させるため	4.6%(4.7%)
9 その他(具体的に: _____)	6.5%(6.7%)
(無回答)	1.1%(1.2%)

運動やスポーツを行った目的やきっかけについて、「体力維持または向上のため」64.9%が最も高く、次いで「気分転換になるから」52.4%、「体重維持または減量のため」39.4%、「筋力維持または強化のため」38.6%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「体力維持または向上のため」64.8%が最も高く、次いで「気分転換になるから」52.9%、「体重維持または減量のため」39.6%、「筋力維持または強化のため」38.4%などとなっている。

図表 3-(3)-1 運動やスポーツを行った目的やきっかけについて

	割合 (%)	回答数
全体	100.0	1,443 人
(1) 体力維持または向上のため	64.9	936 人
(2) 気分転換になるから	52.4	756 人
(3) 体重維持または減量のため	39.4	568 人
(4) 筋力維持または強化のため	38.6	557 人
(5) 趣味だから	22.9	331 人
(6) スポーツ仲間との交流や新しい人との出会いがあるから	15.8	228 人
(7) 医師等に勧められたから	10.2	147 人
(8) 自己の記録や能力を向上させるため	4.6	67 人
(9) その他	6.5	94 人
無回答	1.1	16 人

グラフ単位:(%)

(4) 今まで以上に運動やスポーツをするための条件について

問14 どのような条件が整えば、今まで以上に運動やスポーツをすると思いますか。次の中から3つまで選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,771】※回答数の多い順に並び替え

1 余暇（自由時間）が増加すれば	37.7% (36.8%)
2 一緒に運動やスポーツを行う仲間がいれば	30.0% (30.7%)
3 気に入った運動やスポーツがあれば	29.9% (30.3%)
4 スポーツ施設の利用料金が安くなれば	24.6% (24.3%)
5 気軽に参加できるスポーツクラブやサークルがあれば	24.3% (24.0%)
6 スポーツ施設が身近にあれば	23.4% (24.0%)
7 現状で満足している	19.8% (19.6%)
8 スポーツ教室やスポーツイベントが開催されれば	9.2% (9.3%)
9 スポーツ指導者がいれば	4.8% (4.6%)
10 その他（具体的に：_____）	4.9% (5.0%)
（無回答）	3.8% (4.0%)

今まで以上に運動やスポーツをするための条件について、「余暇（自由時間）が増加すれば」37.7%が最も高く、次いで「一緒に運動やスポーツを行う仲間がいれば」30.0%、「気に入った運動やスポーツがあれば」29.9%、「スポーツ施設の利用料金が安くなれば」24.6%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「余暇（自由時間）が増加すれば」36.8%が最も高く、次いで「一緒に運動やスポーツを行う仲間がいれば」30.7%、「気に入った運動やスポーツがあれば」30.3%、「スポーツ施設の利用料金が安くなれば」24.3%などとなっている。

図表 3-(4)-1 今まで以上に運動やスポーツをするための条件について

	割合 (%)	回答数
全体	100.0	1,771 人
(1) 余暇(自由時間)が増加すれば	37.7	667 人
(2) 一緒に運動やスポーツを行う仲間がいれば	30.0	531 人
(3) 気に入った運動やスポーツがあれば	29.9	529 人
(4) スポーツ施設の利用料金が安くなれば	24.6	435 人
(5) 気軽に参加できるスポーツクラブやサークルがあれば	24.3	431 人
(6) スポーツ施設が身近にあれば	23.4	415 人
(7) 現状で満足している	19.8	350 人
(8) スポーツ教室やスポーツイベントが開催されれば	9.2	163 人
(9) スポーツ指導者がいれば	4.8	85 人
(10) その他	4.9	86 人
無回答	3.8	68 人

グラフ単位:(%)

(5) 県立スポーツ施設の利用について

問15 県立スポーツ施設（香川県総合運動公園・香川県立丸亀競技場・香川県立総合水泳プール・香川県立武道館）を利用したことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。（※「利用」には、スポーツの観戦や応援も含まれます。）

※（）内の割合はウェイトバックした値

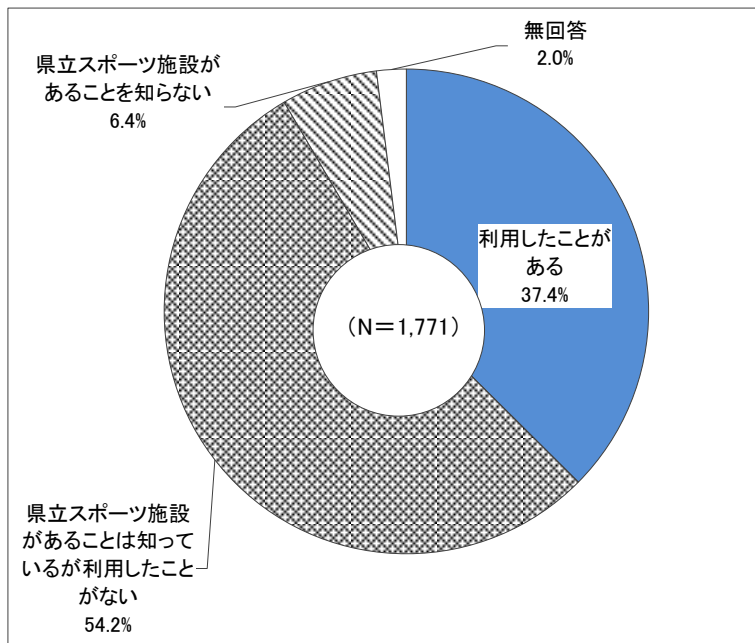
【回答者数=1,771】

1 利用したことがある	37.4%(39.0%)
2 県立スポーツ施設があることは知っているが利用したことがない	54.2%(52.3%)
3 県立スポーツ施設があることを知らない	6.4%(6.7%)
(無回答)	2.0%(2.0%)

県立スポーツ施設の利用について、「県立スポーツ施設があることは知っているが利用したことがない」54.2%が最も高く、次いで「利用したことがある」37.4%、「県立スポーツ施設があることを知らない」6.4%となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「県立スポーツ施設があることは知っているが利用したことがない」52.3%が最も高く、次いで「利用したことがある」39.0%、「県立スポーツ施設があることを知らない」6.7%となっている。

図表 3-(5)-1 県立スポーツ施設の利用について



(6) 体育の授業のうち好きな種目・嫌いな種目について

問16 小学生から高校生の間を受けた体育の授業（実技）のうち、好きな種目と嫌いな種目は何ですか。それぞれ1～8の中からあてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,771】

(単位：%)

種目名	好きな種目	嫌いな種目
1 体づくり運動（体操）	4.5(4.4)	1.8(1.9)
2 器械運動（マット運動、鉄棒運動等）	3.3(3.0)	18.7(18.2)
3 陸上競技（短距離走、走り幅跳び等）	8.1(8.0)	9.2(9.4)
4 水泳	10.9(10.8)	12.7(12.3)
5 球技（サッカー、バレーボール等）	32.7(32.7)	3.7(3.7)
6 武道（柔道、剣道等）	3.3(3.3)	6.4(6.3)
7 ダンス	4.6(5.0)	10.8(10.8)
8 特にない	15.8(15.2)	15.6(15.4)
(無回答)	16.7(17.6)	21.1(22.0)

体育の授業のうち好きな種目・嫌いな種目について、好きな種目は「球技（サッカー、バレーボール等）」32.7%が最も高く、次いで「特にない」15.8%、「水泳」10.9%、「陸上競技（短距離走、走り幅跳び等）」8.1%などとなっている。嫌いな種目は「器械運動（マット運動、鉄棒運動等）」18.7%が最も高く、次いで「特にない」15.6%、「水泳」12.7%、「ダンス」10.8%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、好きな種目は「球技（サッカー、バレーボール等）」32.7%が最も高く、次いで「特にない」15.2%、「水泳」10.8%、「陸上競技（短距離走、走り幅跳び等）」8.0%などとなっている。嫌いな種目は「器械運動（マット運動、鉄棒運動等）」18.2%が最も高く、次いで「特にない」15.4%、「水泳」12.3%、「ダンス」10.8%などとなっている。

図表 3-(6)-1 体育の授業のうち好きな種目・嫌いな種目について

	回答数	
全体	100.0 100.0	1,771 人 1,771 人
(1) 体づくり運動(体操)	4.5 1.8	80 人 31 人
(2) 器械運動(マット運動、鉄棒運動等)	3.3 18.7	58 人 331 人
(3) 陸上競技(短距離走、走り幅跳び等)	8.1 9.2	143 人 163 人
(4) 水泳	10.9 12.7	193 人 225 人
(5) 球技(サッカー、バレーボール等)	32.7 3.7	580 人 65 人
(6) 武道(柔道、剣道等)	3.3 6.4	59 人 113 人
(7) ダンス	4.6 10.8	82 人 192 人
(8) 特にない	15.8 15.6	280 人 277 人
無回答	16.7 21.1	296 人 374 人

グラフ単位:(%)

(7) 令和4年度に香川県で開催されるインターハイの認知度について

問17 令和4年度に香川県で、全国高等学校総合体育大会（インターハイ）が開催されることを知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

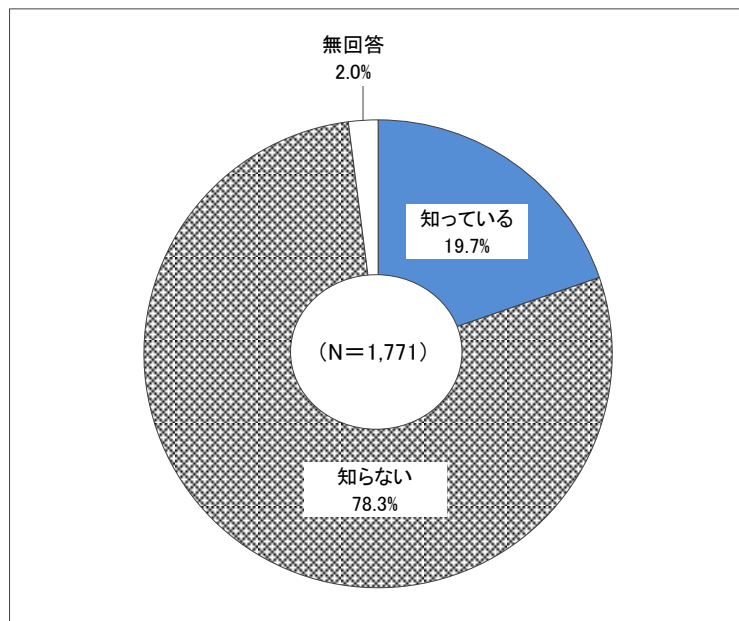
【回答者数=1,771】

1 知っている	19.7% (20.7%)
2 知らない (無回答)	78.3% (77.1%) 2.0% (2.2%)

令和4年度に香川県で開催されるインターハイの認知度について、「知らない」78.3%が最も高く、次いで「知っている」19.7%となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「知らない」77.1%が最も高く、次いで「知っている」20.7%となっている。

図表 3-(7)-1 令和4年度に香川県で開催されるインターハイの認知度について



(8) インターハイで必要と思う来県者へのおもてなしについて

問18 令和4年度のインターハイでは、9競技10種目が開催され、約7,000人の選手・監督が来県します。来県者へのおもてなしについて必要だと思うものを、次の中からすべて選んでください。

※ ()内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,771】※回答数の多い順に並び替え

1	ホームページで、大会情報や周辺情報、特産品などを紹介する	52.9%(52.1%)
2	観光マップを作成する	47.7%(47.4%)
3	ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）で、大会情報や観光案内を情報発信する	45.9%(45.8%)
4	主要な駅や空港などに案内所を設置する	45.4%(45.2%)
5	環境美化活動を積極的に行う	44.2%(43.6%)
6	試合以外の式典行事などを簡素化する	31.0%(31.1%)
7	特産品販売所を大会会場や主要な駅、空港などに設置する	30.5%(30.5%)
8	会場や会場周辺に歓迎のぼり旗などを設置する	25.5%(25.4%)
9	大会オリジナル商品や限定メニューなどを開発・販売する	16.1%(16.4%)
10	その他（具体的に：_____）	6.7%(6.7%)
	（無回答）	3.9%(4.2%)

インターハイで必要と思う来県者へのおもてなしについて、「ホームページで、大会情報や周辺情報、特産品などを紹介する」52.9%が最も高く、次いで「観光マップを作成する」47.7%、「ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）で、大会情報や観光案内を情報発信する」45.9%、「主要な駅や空港などに案内所を設置する」45.4%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「ホームページで、大会情報や周辺情報、特産品などを紹介する」52.1%が最も高く、次いで「観光マップを作成する」47.4%、「ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）で、大会情報や観光案内を情報発信する」45.8%、「主要な駅や空港などに案内所を設置する」45.2%などとなっている。

図表 3-(8)-1 インターハイで必要と思う来県者へのおもてなしについて

		回答数
全体	100.0	1,771 人
(1) ホームページで、大会情報や周辺情報、特産品などを紹介する	52.9	937 人
(2) 観光マップを作成する	47.7	844 人
(3) ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)で、大会情報や観光案内を情報発信する	45.9	813 人
(4) 主要な駅や空港などに案内所を設置する	45.4	804 人
(5) 環境美化活動を積極的に行う	44.2	782 人
(6) 試合以外の式典行事などを簡素化する	31.0	549 人
(7) 特産品販売所を大会会場や主要な駅、空港などに設置する	30.5	541 人
(8) 会場や会場周辺に歓迎のぼり旗などを設置する	25.5	451 人
(9) 大会オリジナル商品や限定メニューなどを開発・販売する	16.1	286 人
(10) その他	6.7	118 人
無回答	3.9	69 人

グラフ単位:(%)

4. 人生の最終段階における医療・ケアについて

(1) ACPの認知度について

問19 あなたはACPをご存じですか。次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

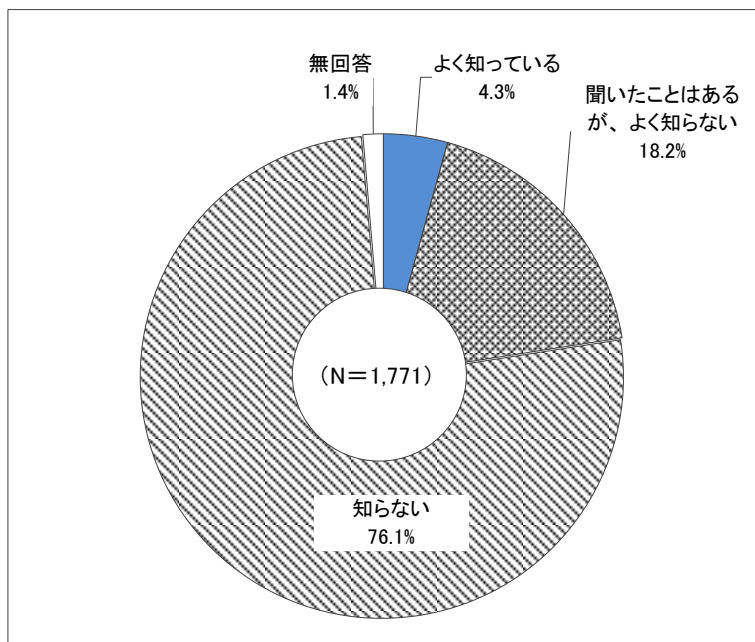
【回答者数=1,771】

1 よく知っている	4.3% (4.2%)
2 聞いたことはあるが、よく知らない	18.2% (18.7%)
3 知らない	76.1% (75.6%)
(無回答)	1.4% (1.5%)

ACPの認知度について、「知らない」76.1%が最も高く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」18.2%、「よく知っている」4.3%となっている。

ウェイトバック集計した値をみると「知らない」75.6%が最も高く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」18.7%、「よく知っている」4.2%となっている。

図表 4-(1)-1 ACPの認知度について



(2)香川県が実施しているACP講演会の認知度について

問20 香川県が実施している、ACPの講演会などの取り組みをご存じですか。次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

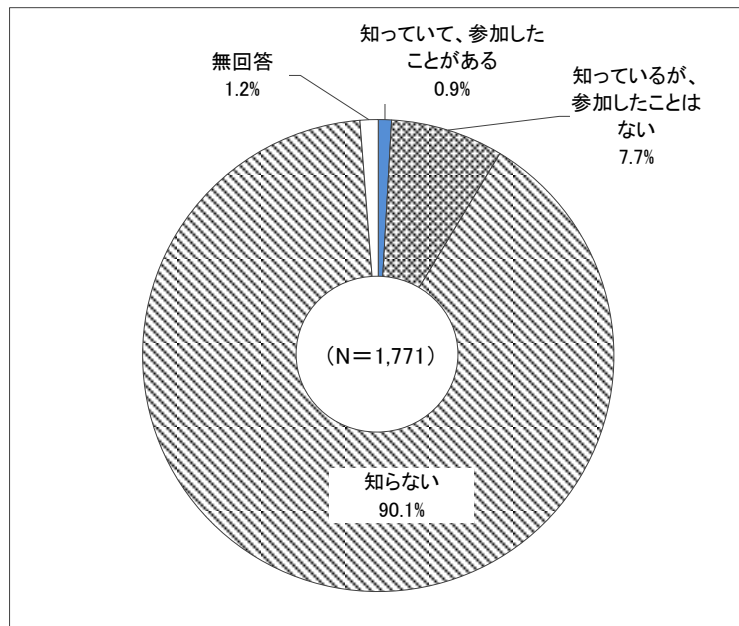
【回答者数=1,771】

1 知っていて、参加したことがある	0.9% (0.9%)
2 知っているが、参加したことはない	7.7% (8.1%)
3 知らない	90.1% (89.6%)
(無回答)	1.2% (1.4%)

香川県が実施しているACP講演会の認知度について、「知らない」90.1%が最も高く、次いで「知っているが、参加したことはない」7.7%、「知っていて、参加したことがある」0.9%となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「知らない」89.6%が最も高く、次いで「知っているが、参加したことはない」8.1%、「知っていて、参加したことがある」0.9%となっている。

図表 4-(2)-1 香川県が実施しているACP講演会の認知度について



(3) 人生の最終段階に受けたい治療を家族と話し合ったことの有無について

問21 人生の最終段階における自分が受けたい治療・ケアについて、家族で話し合ったことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

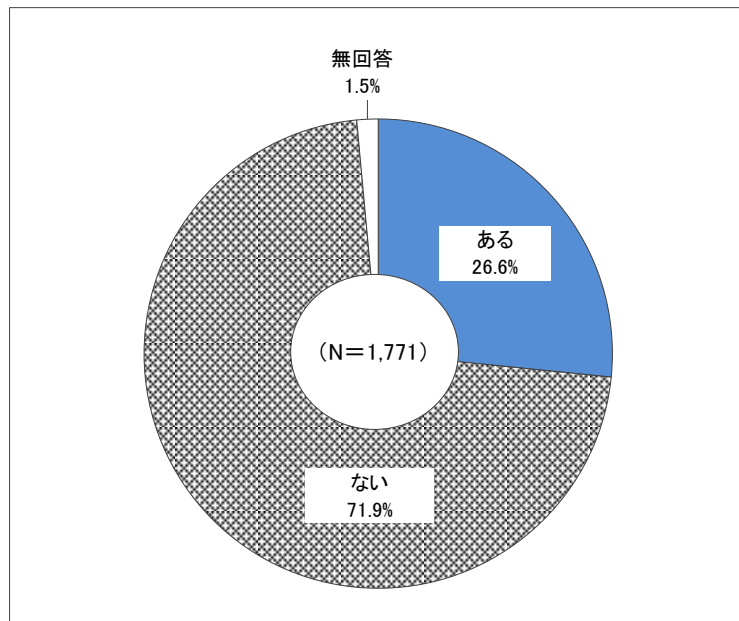
【回答者数=1,771】

1 ある	26.6%(26.1%)
2 ない	71.9%(72.3%)
(無回答)	1.5%(1.6%)

人生の最終段階に受けたい治療を家族と話し合ったことの有無について、「ない」71.9%が最も高く、次いで「ある」26.6%となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「ない」72.3%が最も高く、次いで「ある」26.1%となっている。

図表 4-(3)-1 人生の最終段階に受けたい治療を家族と話し合ったことの有無について



(4) かかりつけ医の有無について

問22 あなたには、健康に関することを何でも相談でき、必要なときは専門の医療機関を紹介してくれる、かかりつけ医がいますか。次の中から1つだけ選んでください。

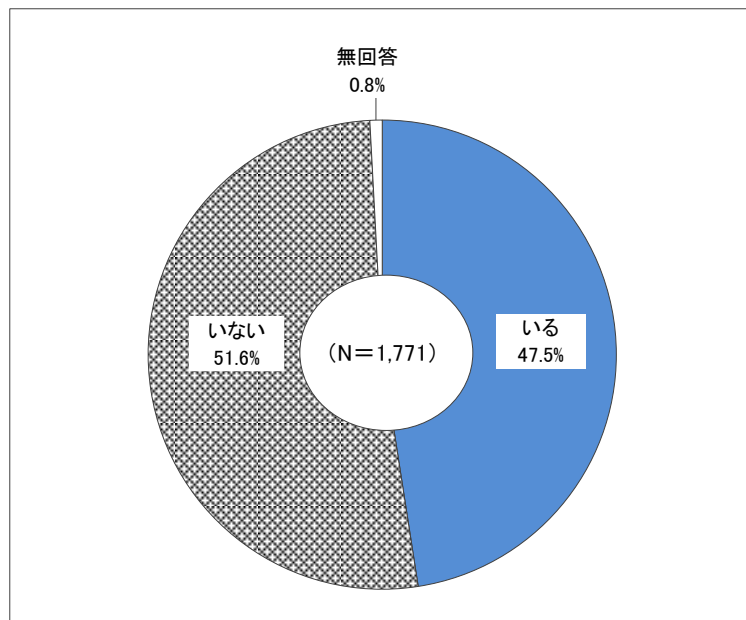
※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,771】

1 いる	47.5%(47.0%)
2 いない	51.6%(52.1%)
(無回答)	0.8%(0.8%)

かかりつけ医の有無について、「いない」51.6%が最も高く、次いで「いる」47.5%となっている。ウェイトバック集計した値をみると、「いない」52.1%が最も高く、次いで「いる」47.0%となっている。

図表 4-(4)-1 かかりつけ医の有無について



(5) 人生の最終段階に受けたい治療をかかりつけ医と話し合ったことの有無について

【問22で「1」と答えた方にお聞きします】

付問11 人生の最終段階における自分が受けたい治療・ケアについて、かかりつけ医と話し合ったことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

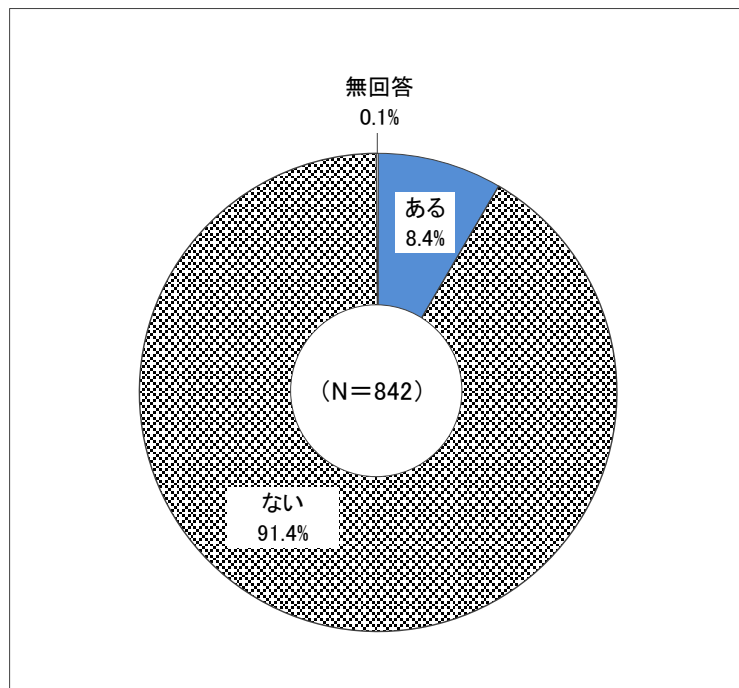
【回答者数=842】

1 ある	8.4%(9.1%)
2 ない	91.4%(89.7%)
(無回答)	0.1%(0.1%)

人生の最終段階に受けたい治療をかかりつけ医と話し合ったことの有無について、「ない」91.4%が最も高く、次いで「ある」8.4%となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「ない」89.7%が最も高く、次いで「ある」9.1%となっている。

図表 4-(5)-1 人生の最終段階に受けたい治療をかかりつけ医と話し合ったことの有無について



(6)代理で治療方針を説明・考えてくれる人を決めているかどうかについて

問23 あなたが意識の無い状態や認知症で正常な判断ができなくなった場合に備えて、代理で治療方針を説明してくれる（考えてくれる）人を決めていますか。次の中から1つだけ選んでください。

※（）内の割合はウェイトバックした値

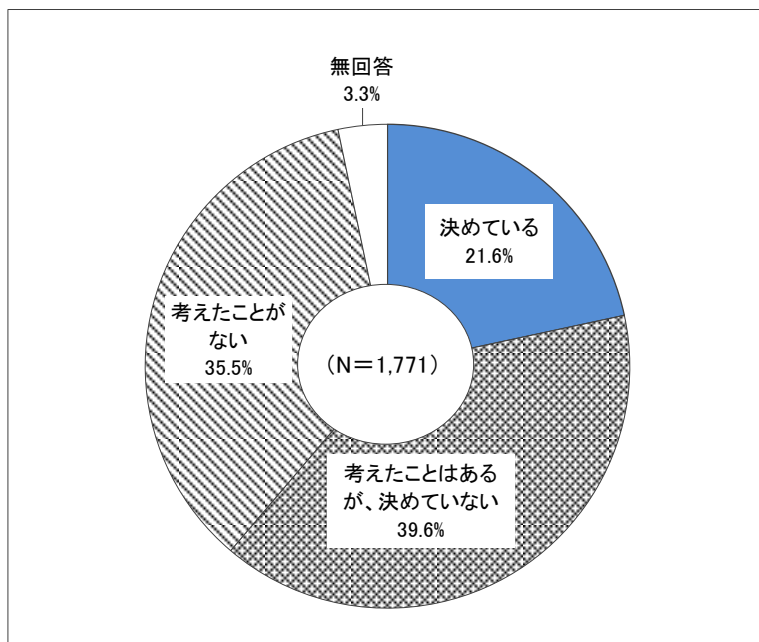
【回答者数=1,771】

1 決めている	21.6% (21.5%)
2 考えたことはあるが、決めていない	39.6% (38.4%)
3 考えたことがない	35.5% (37.0%)
(無回答)	3.3% (3.1%)

代理で治療方針を説明・考えてくれる人を決めているかどうかについて、「考えたことはあるが、決めていない」39.6%が最も高く、次いで「考えたことがない」35.5%、「決めている」21.6%となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「考えたことはあるが、決めていない」38.4%が最も高く、次いで「考えたことがない」37.0%、「決めている」21.5%となっている。

図表 4-(6)-1 代理で治療方針を説明・考えてくれる人を決めているかどうかについて



(7)心停止時に救急隊が心肺蘇生を行わなければならないことの認知度について

問24 たとえご本人、ご家族が希望されていなくても、患者さんの心臓が止まっていた場合、救急隊は心肺蘇生を行わなければならないことを知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

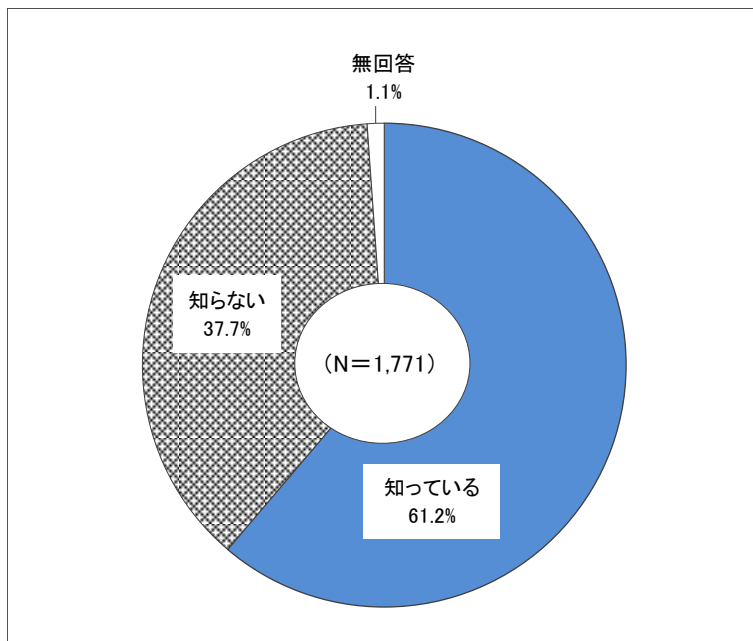
【回答者数=1,771】

1 知っている	61.2%(61.5%)
2 知らない (無回答)	37.7%(37.4%) 1.1%(1.1%)

心停止時に救急隊が心肺蘇生を行わなければならないことの認知度について、「知っている」61.2%が最も高く、次いで「知らない」37.7%となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「知っている」61.5%が最も高く、次いで「知らない」37.4%となっている。

図表 4-(7)-1 心停止時に救急隊が心肺蘇生を行わなければならないことの認知度について



(8) ACPに関する講演会への参加意向について

問25 今後、ACPについての講演会があった場合、参加してみたいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

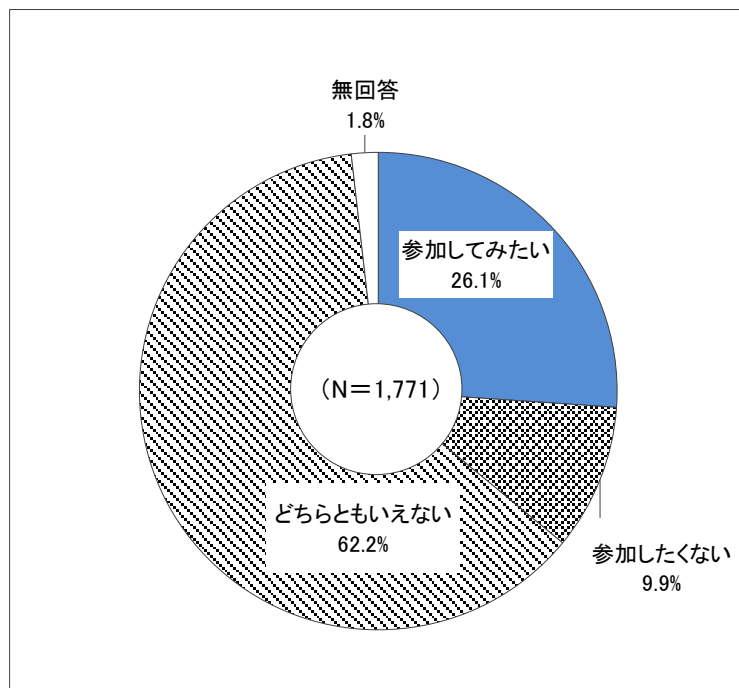
【回答者数=1,771】

1 参加してみたい	26.1%(25.8%)
2 参加したくない	9.9%(10.6%)
3 どちらともいえない (無回答)	62.2%(61.7%) 1.8%(1.8%)

ACPに関する講演会への参加意向について、「どちらともいえない」62.2%が最も高く、次いで「参加してみたい」26.1%、「参加したくない」9.9%となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「どちらともいえない」61.7%が最も高く、次いで「参加してみたい」25.8%、「参加したくない」10.6%となっている。

図表 4-(8)-1 ACPに関する講演会への参加意向について



(9)人生の最終段階における医療・ケアに関する効果的な広報媒体について

問26 人生の最終段階における医療・ケアについて皆さまに知っていただくためには、どの媒体での広報が効果的だと思いますか。効果的だと思うものを次の中から3つまで選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,771】※回答数の多い順に並び替え

1	テレビ	59.3%(59.3%)
2	広報誌・雑誌	43.5%(41.8%)
3	新聞	40.3%(39.8%)
4	チラシ・ポスター	30.2%(29.9%)
5	ホームページ	23.4%(23.0%)
6	SNS (Facebook、Twitter、Instagram 等)	20.4%(22.7%)
7	イベント	10.8%(10.2%)
8	インターネット広告 (YouTube 内広告含む)	10.4%(11.3%)
9	ラジオ	8.3%(8.4%)
10	プロモーション動画 (YouTube 掲載、DVD 制作等)	8.1%(8.0%)
11	インフルエンサー (パワーブロガー、ユーチューバー等)	5.6%(6.3%)
12	メールマガジン	1.2%(1.2%)
13	その他 (具体的に : _____)	2.8%(2.7%)
	(無回答)	1.9%(1.8%)

人生の最終段階における医療・ケアに関する効果的な広報媒体について、「テレビ」59.3%が最も高く、次いで「広報誌・雑誌」43.5%、「新聞」40.3%、「チラシ・ポスター」30.2%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「テレビ」59.3%が最も高く、次いで「広報誌・雑誌」41.8%、「新聞」39.8%、「チラシ・ポスター」29.9%などとなっている。

図表 4-(9)-1 人生の最終段階における医療・ケアに関する効果的な広報媒体について

		回答数
全体	100.0	1,771 人
(1) テレビ	59.3	1,050 人
(2) 広報誌・雑誌	43.5	771 人
(3) 新聞	40.3	714 人
(4) チラシ・ポスター	30.2	534 人
(5) ホームページ	23.4	414 人
(6) SNS(Facebook、Twitter、Instagram等)	20.4	362 人
(7) イベント	10.8	192 人
(8) インターネット広告(YouTube内広告含む)	10.4	184 人
(9) ラジオ	8.3	147 人
(10) プロモーション動画(YouTube掲載、DVD制作等)	8.1	143 人
(11) インフルエンサー(パワーブロガー、ユーチューバー等)	5.6	99 人
(12) メールマガジン	1.2	22 人
(13) その他	2.8	49 人
無回答	1.9	33 人

グラフ単位:(%)

5. 県政の重要度と満足度について

県では、平成28年度からの香川づくりの指針として、「新・せとうち田園都市創造計画」※1を策定し、「成長する香川」、「信頼・安心の香川」、「笑顔で暮らせる香川」の3つの基本方針のもと、さまざまな施策に取り組んできました。また、「新・せとうち田園都市創造計画」に基づくこれまでの取り組みの方向性を引き継ぎながら、社会経済情勢の変化や県民の皆さまの意識・ニーズ等を踏まえ、令和3年度からの新たな香川づくりの指針である、「香川県次期総合計画」※2について、今年度半ばまでの策定を目指して現在検討を進めています。

この「香川県次期総合計画」を着実に推進し、県民の皆さまのニーズ(要望)に対応した県政を進めるためには、皆さまが「県行政に対して何を求めているのか」、「現在の状況にどのくらい満足しているのか」を知り、それを県政に反映させていくことが重要と考えています。

そこで、「新・せとうち田園都市創造計画」で展開してきた24の分野を中心に、皆さまが考える重要度と満足度についてお伺いしますので、以下の質問にお答えください。

「重要度」については、今の生活やこれからの生活を送っていく上でどのくらい重要かを、また、「満足度」については、現状にどのくらい満足しているかを、それぞれ5段階で評価してください。

※1 「新・せとうち田園都市創造計画」

本県の進むべき基本的方向とそれを実現するための方策を明らかにした県政運営の基本指針で、計画期間は平成28年度から令和2年度の5年間です。

この計画では、「せとうち田園都市の新たな創造」を基本目標に掲げ、「成長する香川」、「信頼・安心の香川」、「笑顔で暮らせる香川」の3つの基本方針のもと、人口減少問題の克服や地域活力の向上につながる効果的な施策に重点的に取り組み、人口の社会増を伴う、魅力ある瀬戸内香川の生活圏域づくりを進めてきました。

※2 「香川県次期総合計画」

令和3年度からの県政運営の基本指針であり、今年度半ばまでの策定を目指して現在検討を進めています。

計画期間は令和3年度から令和7年度の5年間を予定しています。

(1)成長する香川(重要度)

問27 「新・せとうち田園都市創造計画」の基本方針「成長する香川」についておたずねします。

「成長する香川」の実現に向けて展開してきた[1]～[7]と[※]の分野について、あなたの<重要度>と<満足度>を、それぞれ(1)～(5)のうち、あてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

※ ()内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,771】

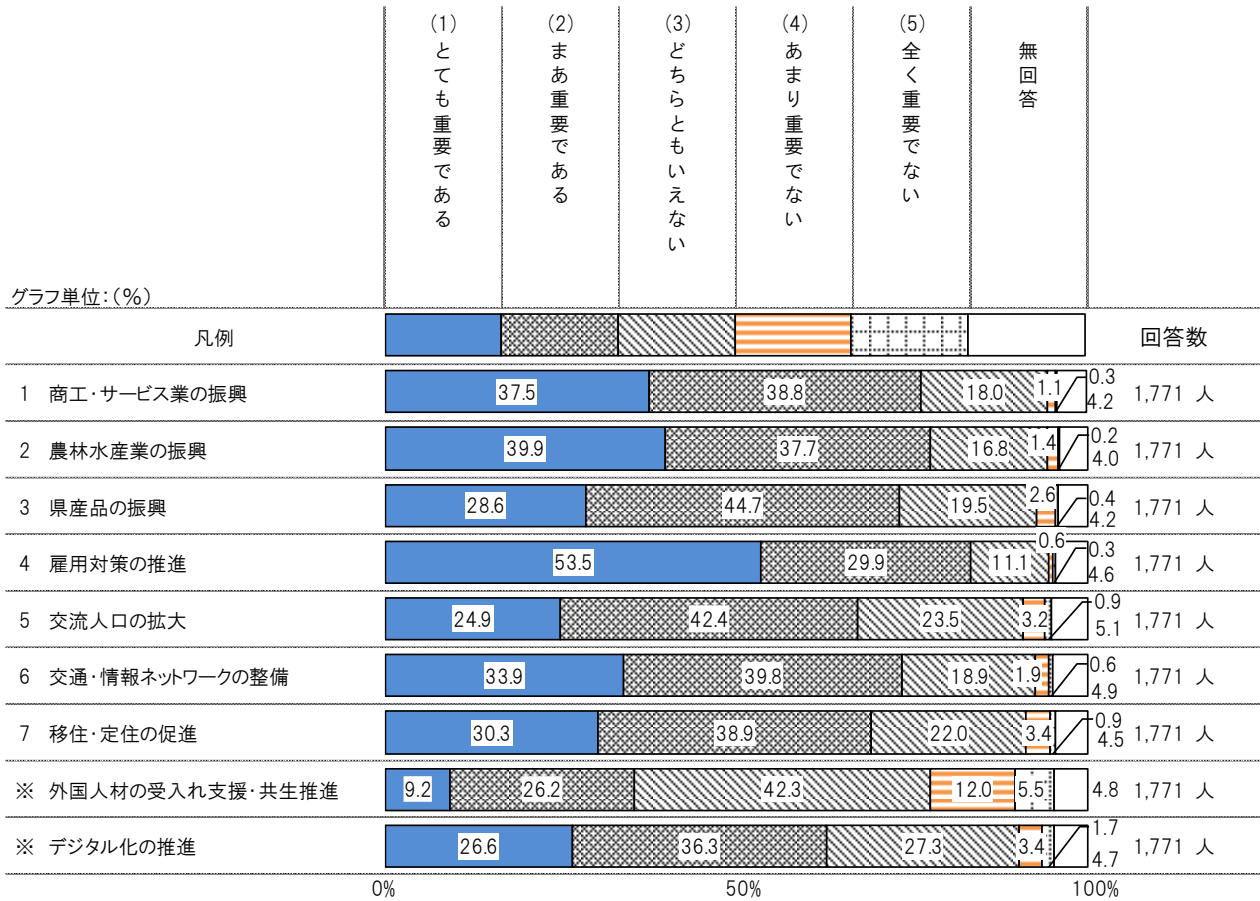
(単位：%)

分 野	重要度					
	(1) とても重要である	(2) まあ重要である	(3) どちらともいえない	(4) あまり重要でない	(5) 全く重要でない	無回答
1 商工・サービス業の振興	37.5 (37.5)	38.8 (38.7)	18.0 (17.8)	1.1 (1.1)	0.3 (0.3)	4.2 (4.6)
2 農林水産業の振興	39.9 (39.6)	37.7 (38.1)	16.8 (16.4)	1.4 (1.3)	0.2 (0.3)	4.0 (4.3)
3 県産品の振興	28.6 (29.2)	44.7 (44.1)	19.5 (18.9)	2.6 (2.7)	0.4 (0.5)	4.2 (4.6)
4 雇用対策の推進	53.5 (53.4)	29.9 (29.8)	11.1 (11.0)	0.6 (0.6)	0.3 (0.3)	4.6 (5.0)
5 交流人口の拡大	24.9 (25.2)	42.4 (42.1)	23.5 (23.2)	3.2 (3.0)	0.9 (1.0)	5.1 (5.6)
6 交通・情報ネットワークの整備	33.9 (33.9)	39.8 (39.6)	18.9 (18.7)	1.9 (1.9)	0.6 (0.6)	4.9 (5.3)
7 移住・定住の促進	30.3 (30.5)	38.9 (38.3)	22.0 (21.9)	3.4 (3.4)	0.9 (0.8)	4.5 (4.9)
※ 外国人材の受入れ支援・共生推進	9.2 (9.5)	26.2 (27.0)	42.3 (41.2)	12.0 (11.6)	5.5 (5.3)	4.8 (5.3)
※ デジタル化の推進	26.6 (27.0)	36.3 (35.7)	27.3 (27.0)	3.4 (3.4)	1.7 (1.6)	4.7 (5.3)

「成長する香川」の重要度について、「とても重要である」と「まあ重要である」を合わせた【重要である】の割合は、「雇用対策の推進」83.4%が最も高く、次いで「農林水産業の振興」77.6%、「商工・サービス業の振興」76.3%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、【重要である】の割合は、「雇用対策の推進」83.2%が最も高く、次いで「農林水産業の振興」77.7%、「商工・サービス業の振興」76.2%などとなっている。

図表 5-(1) 成長する香川(重要度)



(2)成長する香川(満足度)

問27 「新・せとうち田園都市創造計画」の基本方針「成長する香川」についておたずねします。
 「成長する香川」の実現に向けて展開してきた[1]～[7]と[※]の分野について、あなたの
 の＜重要度＞と＜満足度＞を、それぞれ(1)～(5)のうち、あてはまる番号を1つだけ
 選んで、○をつけてください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,771】

(単位：%)

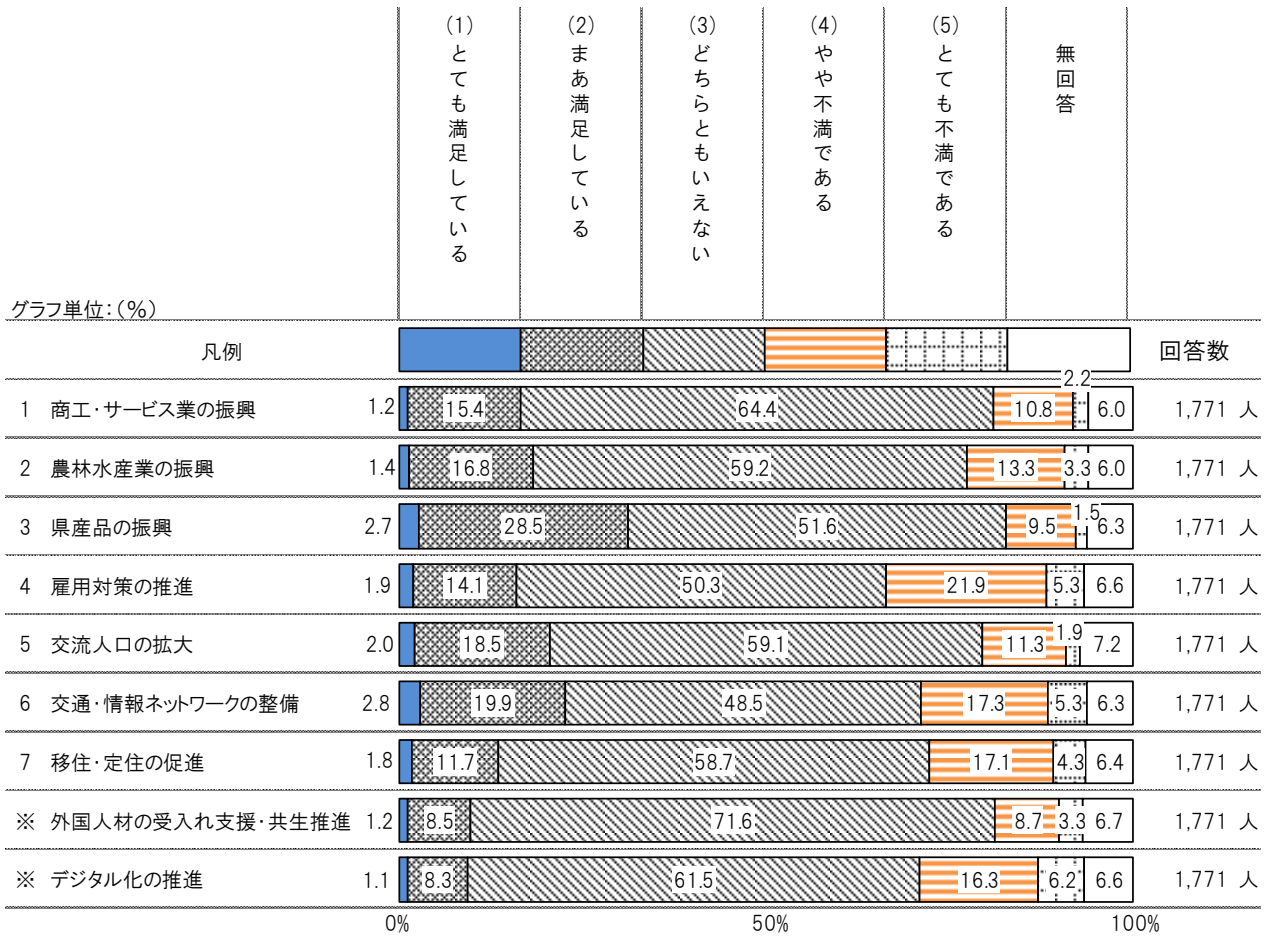
分 野	満足度					
	(1) とても満足している	(2) まあ満足している	(3) どちらともいえない	(4) やや不満である	(5) とても不満である	無回答
1 商工・サービス業の振興	1.2 (1.7)	15.4 (15.5)	64.4 (63.6)	10.8 (10.5)	2.2 (2.2)	6.0 (6.5)
2 農林水産業の振興	1.4 (1.9)	16.8 (17.3)	59.2 (57.9)	13.3 (13.2)	3.3 (3.2)	6.0 (6.5)
3 県産品の振興	2.7 (3.3)	28.5 (28.4)	51.6 (50.1)	9.5 (9.8)	1.5 (1.6)	6.3 (6.8)
4 雇用対策の推進	1.9 (2.1)	14.1 (14.3)	50.3 (49.7)	21.9 (21.5)	5.3 (5.3)	6.6 (7.2)
5 交流人口の拡大	2.0 (2.5)	18.5 (18.7)	59.1 (58.0)	11.3 (11.1)	1.9 (1.9)	7.2 (7.7)
6 交通・情報ネットワークの整備	2.8 (3.2)	19.9 (19.8)	48.5 (47.7)	17.3 (17.1)	5.3 (5.4)	6.3 (6.8)
7 移住・定住の促進	1.8 (2.2)	11.7 (12.3)	58.7 (57.2)	17.1 (17.3)	4.3 (4.1)	6.4 (6.9)
※ 外国人材の受入れ支援・共生推進	1.2 (1.5)	8.5 (8.9)	71.6 (70.0)	8.7 (8.9)	3.3 (3.4)	6.7 (7.3)
※ デジタル化の推進	1.1 (1.5)	8.3 (8.8)	61.5 (60.0)	16.3 (16.2)	6.2 (6.5)	6.6 (7.2)

「成長する香川」の満足度について、「商工・サービス業の振興」、「農林水産業の振興」、「県産品の振興」、「交流人口の拡大」と「交通・情報ネットワークの整備」では、「とても満足している」と「まあ満足している」を合わせた【満足している】の割合が、「やや不満である」と「とても不満である」を合わせた【不満である】の割合を上回っている。

一方で、「雇用対策の推進」、「移住・定住の促進」、「外国人材の受入れ支援・共生推進」、「デジタル化の推進」では、【不満である】の割合が【満足している】の割合を上回っている。

ウェイトバック集計した値においても、同じ結果となっている。

図表 5-(2) 成長する香川(満足度)



(3)信頼・安心の香川(重要度)

問28 「新・せとうち田園都市創造計画」の基本方針「信頼・安心の香川」についておたずねします。
 「信頼・安心の香川」の実現に向けて展開してきた[8]～[15]の分野について、あなたの＜重要度＞と＜満足度＞を、それぞれ(1)～(5)のうち、あてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,771】

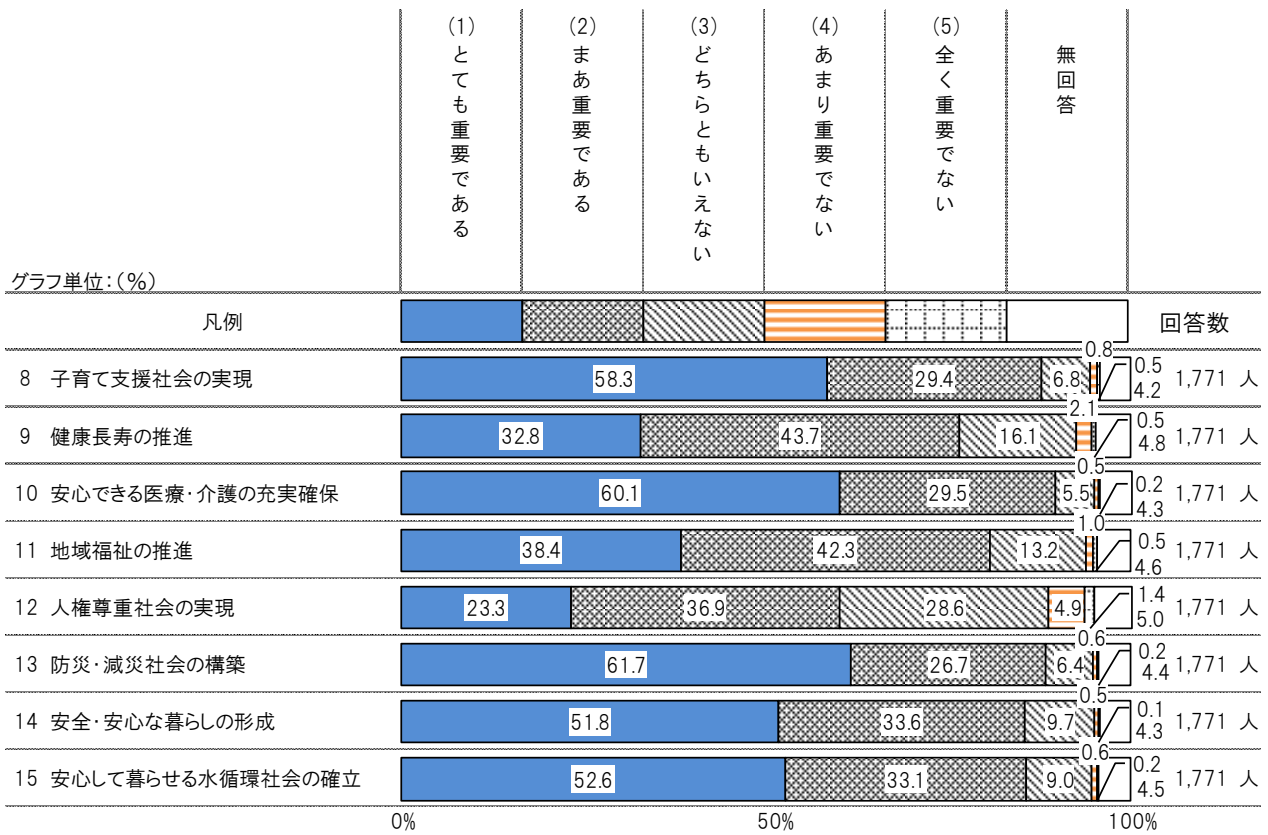
(単位：%)

分 野	重要度					
	(1) とても重要である	(2) まあ重要である	(3) どちらともいえない	(4) あまり重要でない	(5) 全く重要でない	無回答
8 子育て支援社会の実現	58.3 (59.6)	29.4 (28.1)	6.8 (6.7)	0.8 (0.8)	0.5 (0.5)	4.2 (4.5)
9 健康長寿の推進	32.8 (33.5)	43.7 (43.0)	16.1 (15.8)	2.1 (2.3)	0.5 (0.5)	4.8 (5.0)
10 安心できる医療・介護の充実確保	60.1 (60.1)	29.5 (29.2)	5.5 (5.5)	0.5 (0.5)	0.2 (0.2)	4.3 (4.5)
11 地域福祉の推進	38.4 (38.5)	42.3 (42.2)	13.2 (13.1)	1.0 (1.1)	0.5 (0.5)	4.6 (4.8)
12 人権尊重社会の実現	23.3 (24.1)	36.9 (37.2)	28.6 (27.3)	4.9 (4.8)	1.4 (1.4)	5.0 (5.2)
13 防災・減災社会の構築	61.7 (62.2)	26.7 (26.1)	6.4 (6.3)	0.6 (0.6)	0.2 (0.2)	4.4 (4.6)
14 安全・安心な暮らしの形成	51.8 (52.2)	33.6 (33.1)	9.7 (9.7)	0.5 (0.5)	0.1 (0.1)	4.3 (4.5)
15 安心して暮らせる水循環社会の確立	52.6 (52.3)	33.1 (33.1)	9.0 (9.1)	0.6 (0.5)	0.2 (0.3)	4.5 (4.6)

「信頼・安心の香川」の重要度について、「とても重要である」と「まあ重要である」を合わせた【重要である】の割合は、「安心できる医療・介護の充実確保」89.6%が最も高く、次いで「防災・減災社会の構築」88.4%、「子育て支援社会の実現」87.7%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、【重要である】の割合は、「安心できる医療・介護の充実確保」89.3%が最も高く、次いで「防災・減災社会の構築」88.3%、「子育て支援社会の実現」87.7%などとなっている。

図表 5-(3) 信頼・安心の香川(重要度)



(4)信頼・安心の香川(満足度)

問28 「新・せとうち田園都市創造計画」の基本方針「信頼・安心の香川」についておたずねします。
 「信頼・安心の香川」の実現に向けて展開してきた[8]～[15]の分野について、あなたの＜重要度＞と＜満足度＞を、それぞれ(1)～(5)のうち、あてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,771】

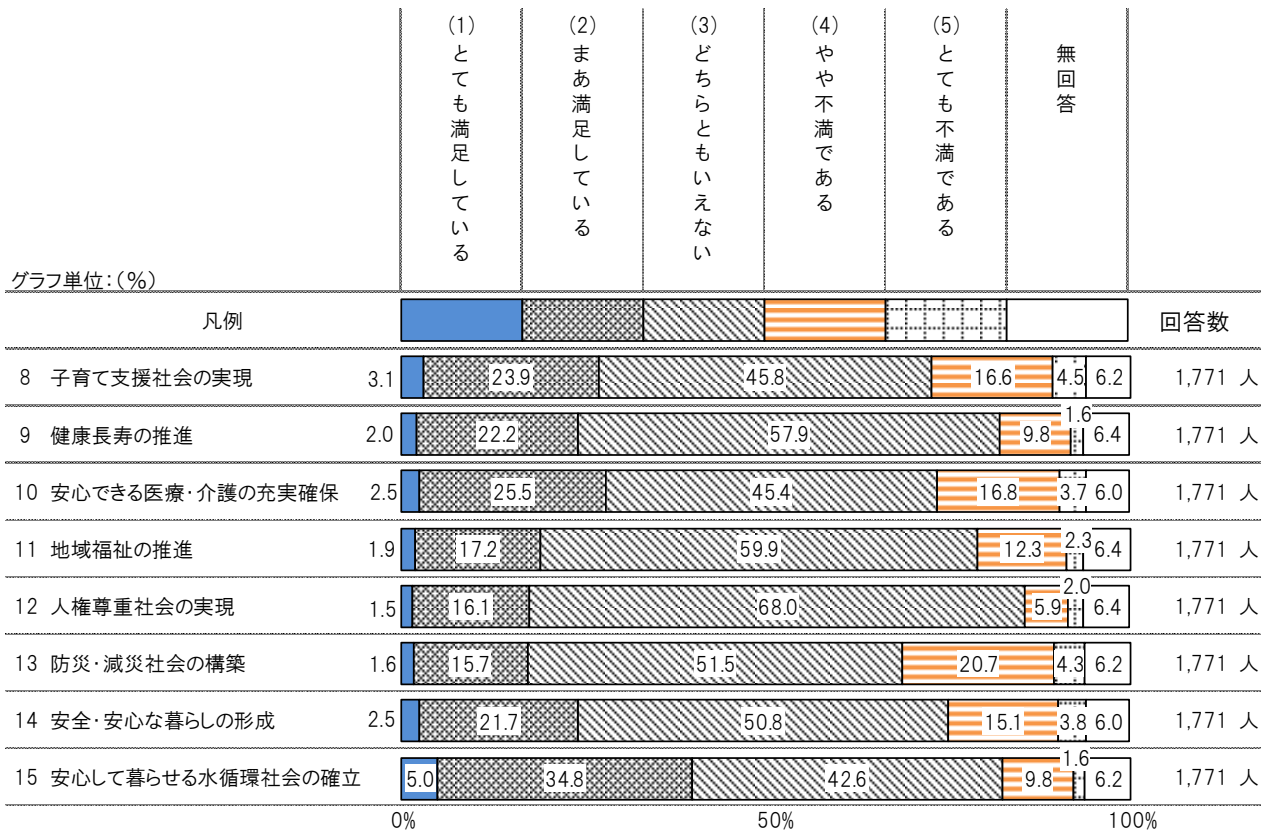
(単位：%)

分 野	満足度					
	(1) とても満足している	(2) まあ満足している	(3) どちらともいえない	(4) やや不満である	(5) とても不満である	無回答
8 子育て支援社会の実現	3.1 (3.4)	23.9 (23.9)	45.8 (44.6)	16.6 (16.8)	4.5 (4.7)	6.2 (6.5)
9 健康長寿の推進	2.0 (2.5)	22.2 (22.8)	57.9 (56.6)	9.8 (9.6)	1.6 (1.6)	6.4 (6.8)
10 安心できる医療・介護の充実確保	2.5 (2.9)	25.5 (26.0)	45.4 (44.4)	16.8 (16.4)	3.7 (3.8)	6.0 (6.4)
11 地域福祉の推進	1.9 (2.3)	17.2 (17.4)	59.9 (59.5)	12.3 (12.0)	2.3 (2.3)	6.4 (6.7)
12 人権尊重社会の実現	1.5 (2.0)	16.1 (16.8)	68.0 (66.3)	5.9 (6.2)	2.0 (2.0)	6.4 (6.7)
13 防災・減災社会の構築	1.6 (1.8)	15.7 (16.0)	51.5 (50.7)	20.7 (20.8)	4.3 (4.2)	6.2 (6.5)
14 安全・安心な暮らしの形成	2.5 (2.9)	21.7 (22.1)	50.8 (49.7)	15.1 (15.2)	3.8 (3.8)	6.0 (6.3)
15 安心して暮らせる水循環社会の確立	5.0 (5.4)	34.8 (34.8)	42.6 (42.2)	9.8 (9.7)	1.6 (1.5)	6.2 (6.5)

「信頼・安心の香川」の満足度について、「防災・減災社会の構築」では、「やや不満である」と「とても不満である」を合わせた【不満である】の割合が、「とても満足している」と「まあ満足している」を合わせた【満足している】の割合を上回っており、そのほかの分野では、【満足している】の割合が【不満である】の割合を上回っている。

ウェイトバック集計した値においても、同じ結果となっている。

図表 5-(4) 信頼・安心の香川(満足度)



(5)笑顔で暮らせる香川(重要度)

問29 「新・せとうち田園都市創造計画」の基本方針「笑顔で暮らせる香川」についておたずねします。

「笑顔で暮らせる香川」の実現に向けて展開してきた[16]～[24]の分野について、あなたの＜重要度＞と＜満足度＞を、それぞれ（１）～（５）のうち、あてはまる番号を１つだけ選んで、○をつけてください。

※（）内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,771】

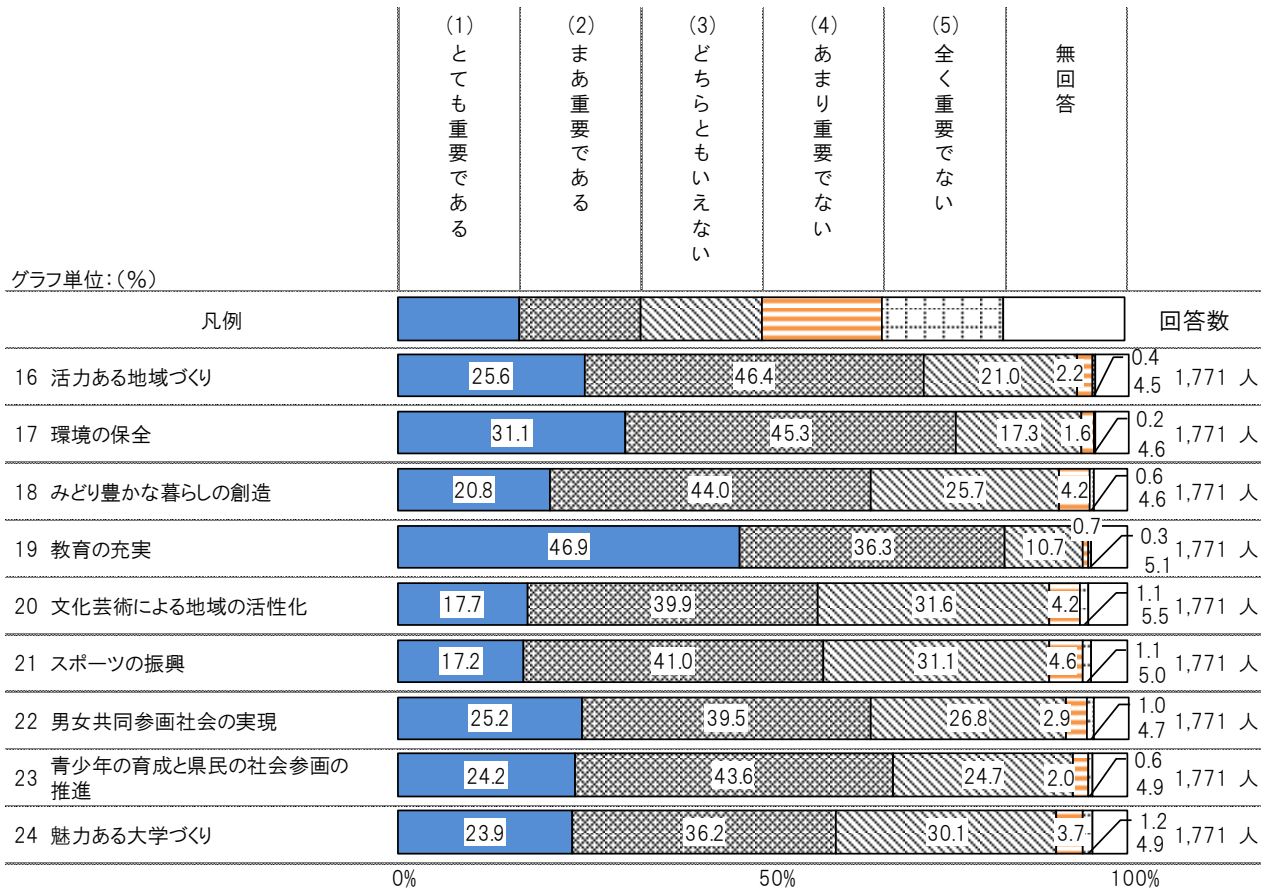
（単位：％）

分野	重要度					
	(1) とても重要である	(2) まあ重要である	(3) どちらともいえない	(4) あまり重要でない	(5) 全く重要でない	無回答
16 活力ある地域づくり	25.6 (26.1)	46.4 (46.1)	21.0 (20.4)	2.2 (2.3)	0.4 (0.5)	4.5 (4.7)
17 環境の保全	31.1 (31.4)	45.3 (44.8)	17.3 (17.2)	1.6 (1.5)	0.2 (0.2)	4.6 (4.9)
18 みどり豊かな暮らしの創造	20.8 (21.6)	44.0 (43.3)	25.7 (25.4)	4.2 (4.2)	0.6 (0.7)	4.6 (4.8)
19 教育の充実	46.9 (47.4)	36.3 (36.0)	10.7 (10.3)	0.7 (0.7)	0.3 (0.3)	5.1 (5.4)
20 文化芸術による地域の活性化	17.7 (18.4)	39.9 (39.5)	31.6 (31.1)	4.2 (4.2)	1.1 (1.1)	5.5 (5.8)
21 スポーツの振興	17.2 (18.4)	41.0 (40.4)	31.1 (30.4)	4.6 (4.5)	1.1 (1.1)	5.0 (5.3)
22 男女共同参画社会の実現	25.2 (26.1)	39.5 (39.2)	26.8 (26.3)	2.9 (2.5)	1.0 (1.0)	4.7 (4.9)
23 青少年の育成と県民の社会参画の推進	24.2 (24.6)	43.6 (43.3)	24.7 (24.6)	2.0 (1.8)	0.6 (0.7)	4.9 (5.1)
24 魅力ある大学づくり	23.9 (25.0)	36.2 (36.0)	30.1 (29.2)	3.7 (3.4)	1.2 (1.2)	4.9 (5.1)

「笑顔で暮らせる香川」の重要度について、「とても重要である」と「まあ重要である」を合わせた【重要である】の割合は、「教育の充実」83.2%が最も高く、次いで「環境の保全」76.4%、「活力ある地域づくり」72.0%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、【重要である】の割合は、「教育の充実」83.4%が最も高く、次いで「環境の保全」76.2%、「活力ある地域づくり」72.2%などとなっている。

図表 5-(5) 笑顔で暮らせる香川(重要度)



(6) 笑顔で暮らせる香川(満足度)

問29 「新・せとうち田園都市創造計画」の基本方針「笑顔で暮らせる香川」についておたずねします。

「笑顔で暮らせる香川」の実現に向けて展開してきた[16]～[24]の分野について、あなたの＜重要度＞と＜満足度＞を、それぞれ(1)～(5)のうち、あてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,771】

(単位：%)

分 野	満足度					
	(1) とても満足している	(2) まあ満足している	(3) どちらともいえない	(4) やや不満である	(5) とても不満である	無回答
16 活力ある地域づくり	0.9 (1.2)	16.3 (16.9)	64.0 (62.7)	10.7 (10.8)	2.0 (2.0)	6.1 (6.4)
17 環境の保全	1.2 (1.7)	18.5 (19.2)	60.9 (59.5)	11.3 (11.3)	1.8 (1.7)	6.3 (6.6)
18 みどり豊かな暮らしの創造	2.1 (2.5)	20.4 (20.7)	61.6 (60.7)	7.9 (7.8)	1.5 (1.5)	6.4 (6.8)
19 教育の充実	2.3 (2.6)	23.9 (24.1)	51.1 (49.7)	12.4 (12.9)	3.6 (3.7)	6.8 (7.0)
20 文化芸術による地域の活性化	3.3 (3.9)	22.5 (22.5)	59.5 (58.3)	6.2 (6.2)	1.6 (1.8)	6.9 (7.3)
21 スポーツの振興	2.0 (2.5)	16.7 (17.1)	64.9 (63.6)	8.1 (8.3)	1.5 (1.5)	6.8 (7.0)
22 男女共同参画社会の実現	1.4 (1.7)	13.6 (14.6)	64.0 (62.5)	11.9 (11.7)	2.6 (2.6)	6.5 (6.9)
23 青少年の育成と県民の社会参画の推進	1.4 (1.6)	14.9 (15.8)	66.1 (64.9)	9.5 (9.4)	1.5 (1.4)	6.6 (6.9)
24 魅力ある大学づくり	1.8 (2.3)	12.1 (12.8)	65.3 (63.3)	11.1 (11.5)	3.2 (3.4)	6.4 (6.8)

「笑顔で暮らせる香川」の満足度について、「魅力ある大学づくり」を除くすべての分野で「とても満足している」と「まあ満足している」を合わせた【満足している】の割合が、「やや不満である」と「とても不満である」を合わせた【不満である】の割合を上回っており、特に「教育の充実」、「文化芸術による地域の活性化」や「みどり豊かな暮らしの創造」の満足度が高くなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、すべての分野で【満足している】の割合が【不満である】の割合を上回っている。

図表 5-(6) 笑顔で暮らせる香川(満足度)

